

JP1 Version 8

JP1/Integrated Management - Rule Operation GUI リファレンス

操作書

3020-3-K11-60

マニュアルの購入方法

このマニュアル，および関連するマニュアルをご購入の際は，
巻末の「ソフトウェアマニュアルのサービス ご案内」をご参
照ください。

対象製品

適用 OS のバージョン, JP1/Integrated Management - Rule Operation が前提とするサービスパックやパッチなどの詳細についてはリリースノートで確認してください。

P-242C-8D84 JP1/Integrated Management - Rule Operation 08-50 (適用 OS : Windows Server 2003)

P-242C-6H84 JP1/Integrated Management - View 08-50 (適用 OS : Windows Server 2003, Windows XP)

P-2A2C-6H84 JP1/Integrated Management - View 08-50 (適用 OS : Windows Vista)

JP1/Integrated Management - Rule Operation は, 経済産業省が 2003 年度から 3 年間実施した「ビジネスグリッドコンピューティングプロジェクト」の技術開発の成果を含みます。

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には, 外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上, 必要な手続きをお取りください。

なお, ご不明な場合は, 弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Active Directory は, 米国 Microsoft Corporation の, 米国およびその他の国における登録商標または商標です。

BSAFE は, RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Internet Explorer は, 米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は, 米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

RSA は, RSA Security Inc. の登録商標です。

Windows は, 米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Windows Server は, 米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Windows Vista は, 米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product includes software developed by Ben Laurie for use in the Apache-SSL HTTP server project.

This product includes software developed by IAIK of Graz University of Technology.

Portions of this software were developed at the National Center for Supercomputing Applications (NCSA) at the University of Illinois at Urbana-Champaign.

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This software contains code derived from the RSA Data Security Inc. MD5 Message-Digest Algorithm, including various modifications by Spyglass Inc., Carnegie Mellon University, and Bell Communications Research, Inc (Bellcore).

Regular expression support is provided by the PCRE library package, which is open source software, written by Philip Hazel, and copyright by the University of Cambridge, England. The original software is available from <ftp://ftp.csx.cam.ac.uk/pub/software/programming/pcre/>

This product includes software developed by Ralf S.Engelschall <rse@engelschall.com> for use in the mod_ssl project (<http://www.modssl.org/>).



本製品は、RSA Security Inc. の RSA(R) BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。

HITACHI
Inspire the Next

© 株式会社 日立製作所



発行

2006年6月(第1.1版) 3020-3-K11-01

2008年3月(第4版) 3020-3-K11-60

著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2006, 2008, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容 (3020-3-K11-60) JP1/Integrated Management - Rule Operation 08-50 , JP1/Integrated Management - View 08-50

追加・変更内容	変更箇所
メイン画面の [ルール運用] ページ , [ルール監視] 画面 , [ルール実行履歴] 画面 , および [ルール結果詳細] 画面のルールインスタンスリストの表示項目に , [テスト実行] を追加した。	1.2.2 , 1.5 , 1.6 , 1.7
ルールエレメントの種類に「時刻分岐」を追加した。	1.3 , 1.9.9 , 1.9.10 , 1.10.4
[ルール監視] 画面および [ルール実行履歴] 画面の表示条件に次の項目を追加した。 <ul style="list-style-type: none">• ルールが登録中か未登録か• テスト実行で起動されたルールか通常実行のルールか	1.8

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルは、JP1/Integrated Management - Rule Operation (以降、JP1/IM - RL に略します) について説明したものです。

対象読者

このマニュアルは、次の方を対象としています。

- JP1/Integrated Management を使用したシステムを導入、構築および運用するシステム管理者
- システムを監視し、発生した事象に対する調査や対処を自動化したいシステム管理者やオペレーター

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章から構成されています。

第 1 章 画面

JP1/IM - RL で使用する JP1/Integrated Management - View (ルールオペレーション・ビューアー) の画面について説明しています。

関連マニュアル

関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

- JP1 Version 8 JP1/Integrated Management - Rule Operation システム構築・運用ガイド (3020-3-K10)
- JP1 Version 8 JP1/Base 運用ガイド (3020-3-K06)

マニュアルの体系

JP1/IM - RL のマニュアルには、このマニュアルを含め次の二つのマニュアルがあります。利用目的に応じてお読みください。

JP1 Version 8 JP1/Integrated Management - Rule Operation システム構築・運用ガイド (3020-3-K10)

JP1/IM - RL の概要、機能、インストール・セットアップ方法、および JP1/IM - RL の操作について説明しています。

JP1 Version 8 JP1/Integrated Management - Rule Operation GUI リファレンス (3020-3-K11)
JP1/IM - RL で使用する操作画面について説明しています。

このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、日立製品およびそのほかの製品の名称を省略して表記しています。次に、製品の正式名称と、このマニュアルでの表記を示します。

このマニュアルでの表記		正式名称
JP1/IM - Manager		JP1/Integrated Management - Manager
JP1/IM - RL		JP1/Integrated Management - Rule Operation
JP1/IM - View		JP1/Integrated Management - View
Microsoft Internet Explorer		Microsoft(R) Internet Explorer(R)
Windows Internet Explorer		Windows(R) Internet Explorer(R)
Windows Server 2003	Windows Server 2003	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition
	Windows Server 2003(x64)	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition
	Windows Server 2003 R2	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition
	Windows Server 2003 R2(x64)	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition
		Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition
Windows Vista	Microsoft(R) Windows Vista(R) Business	
	Microsoft(R) Windows Vista(R) Enterprise	
	Microsoft(R) Windows Vista(R) Ultimate	
Windows XP Professional		Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System

このマニュアルで使用する英略語

このマニュアルで使用する英略語を次に示します。

英略語	正式名称
DB	Database
GUI	Graphical User Interface
HTML	Hyper Text Markup Language
OS	Operating System
WWW	World Wide Web

このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号を次に示します。

記号	意味
[]	画面名、画面上に表示されている項目名、メニュー名、ボタン名、およびキーボードのキーを示す。 例 画面名:[ログイン]画面 画面上の項目名:[ユーザー名] メニュー名:[コピー] ボタン名:[OK]ボタン キーボードのキー:[Ctrl]キー
[] - []	画面のメニューから項目を選択する操作を示す。 例 [編集] - [コピー]

数式で使用する記号

このマニュアルの数式中で使用する記号を、次のように定義します。

記号	意味
×	乗算記号を示す。

オンラインマニュアルについて

JP1/IM - RL では、WWW ブラウザーで参照できる HTML マニュアルを提供しています。内容はこのマニュアルと同じです。HTML マニュアルは、下記 WWW ブラウザーで参照できます。

- Microsoft Internet Explorer 6.0 以降
- Windows Internet Explorer 7 以降

HTML マニュアルは、次の操作で目次が表示されます。

JP1/IM - View の [ヘルプ] - [目次] を選択する。または、スタートメニューから [プログラム] - [JP1_Integrated Management - View] - [ヘルプ (ルール管理)] を選択する。

常用漢字以外の漢字の使用について

このマニュアルでは、常用漢字を使用することを基本としていますが、次に示す用語については、常用漢字以外の漢字を使用しています。

個所 (かしよ)

桁 (けた)

貼り付ける (はりつける)

KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ 1,024 バイト, 1,024² バイト, 1,024³ バイト, 1,024⁴ バイトです。

目次

1	画面	1
1.1	[ログイン] 画面	2
1.2	メイン画面	3
1.2.1	メイン画面の詳細	3
1.2.2	[ルール運用] ページ	5
1.2.3	[ルール編集] ページ	8
1.3	[ルールエディタ] 画面	10
1.4	[ルールモニタ] 画面	14
1.5	[ルール監視] 画面	17
1.6	[ルール実行履歴] 画面	19
1.7	[ルール結果詳細] 画面	21
1.8	[表示設定] 画面	23
1.9	詳細定義画面	26
1.9.1	[詳細定義 - [ルールグループ]] 画面	26
1.9.2	[詳細定義 - [ルール]] 画面	26
1.9.3	[詳細定義 - [ルール起動条件]] 画面	28
1.9.4	[イベント拡張属性] 画面	31
1.9.5	[詳細定義 - [コマンド実行]] 画面	32
1.9.6	[詳細定義 - [分岐]] 画面	35
1.9.7	[分岐先ルールエレメント設定] 画面	36
1.9.8	[変数条件] 画面	38
1.9.9	[詳細定義 - [時刻分岐]] 画面	39
1.9.10	[時刻分岐先ルールエレメント設定] 画面	40
1.9.11	[詳細定義 - [判断待ち]] 画面	41
1.9.12	[詳細定義 - [対処 (コマンド)]] 画面	44
1.9.13	[説明文] 画面	47
1.10	モニタ詳細画面	48
1.10.1	[モニタ詳細 - [ルール起動条件]] 画面	48
1.10.2	[モニタ詳細 - [コマンド実行]] 画面	49
1.10.3	[モニタ詳細 - [分岐]] 画面	50
1.10.4	[モニタ詳細 - [時刻分岐]] 画面	52
1.10.5	[モニタ詳細 - [判断待ち]] 画面	53
1.10.6	[対処実行確認] 画面	55

1.10.7 [モニタ詳細 - [対処 (コマンド)]] 画面	56
---------------------------------------	----

付録	59
-----------	-----------

付録 A 各バージョンの変更内容	60
------------------	----

付録 A.1 08-10 の変更内容	60
--------------------	----

付録 A.2 08-01 の変更内容	60
--------------------	----

索引	61
-----------	-----------

1

画面

この章では、ルールオペレーション・ビューアーの各画面の表示項目および定義項目について説明します。

-
- 1.1 [ログイン]画面

 - 1.2 メイン画面

 - 1.3 [ルールエディタ]画面

 - 1.4 [ルールモニタ]画面

 - 1.5 [ルール監視]画面

 - 1.6 [ルール実行履歴]画面

 - 1.7 [ルール結果詳細]画面

 - 1.8 [表示設定]画面

 - 1.9 詳細定義画面

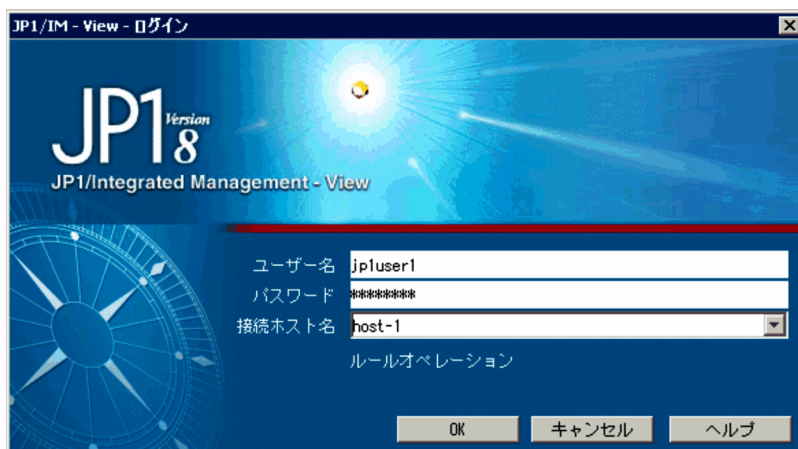
 - 1.10 モニタ詳細画面
-

1.1 [ログイン]画面

JP1/IM・View のルールオペレーション・ビューアーを起動すると,[ログイン]画面が表示されます。ユーザーが認証され,ログインに成功すると,メイン画面が表示されます。

[ログイン]画面を次に示します。

図 1-1 [ログイン]画面



表示項目を次に示します。

[ユーザー名]

ログインする JP1 ユーザー名を,半角英数字で入力します。ユーザー名には,小文字だけを入力できます。大文字を入力した場合も小文字として認証されます。ユーザー名は,あらかじめ認証サーバの JP1/Base で登録しておく必要があります。また,登録する際には,JP1/IM・RL の画面を操作するための操作権限を与える必要があります。ログインユーザーの登録については,マニュアル「JP1/Base 運用ガイド」を,操作権限については,マニュアル「JP1/Integrated Management・Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

入力できる文字数:1 ~ 31 バイト

[パスワード]

ユーザー名に対応するパスワードを,半角英数字で入力します。パスワードは,大文字・小文字を区別します。

入力できる文字数:1 ~ 32 バイト

[接続ホスト名]

接続する JP1/IM・RL のホスト名を入力します。

また,ドロップダウンリストから過去に接続したホストを選択することもできます。

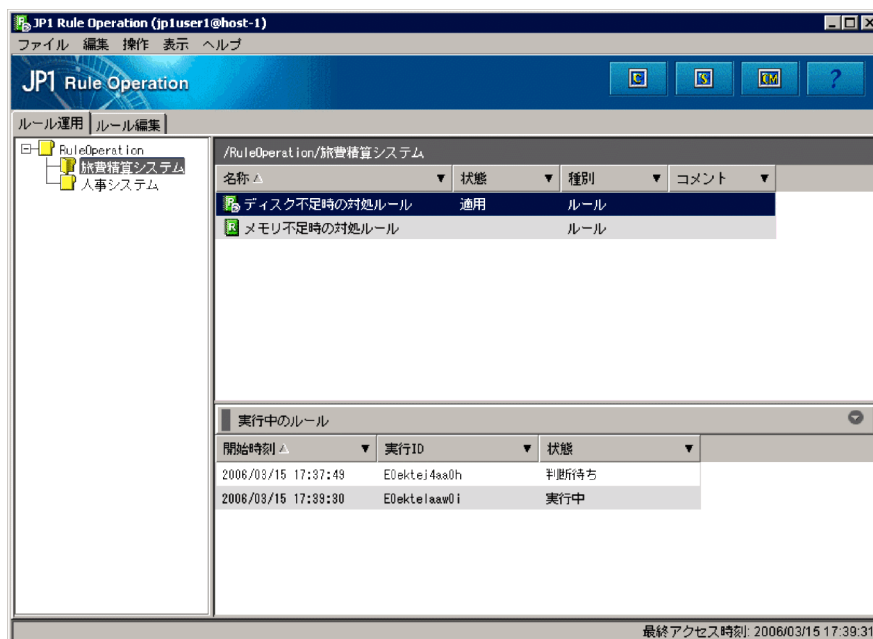
入力できる文字数:1 ~ 255 バイト

1.2 メイン画面

JP1/IM・RL にログインすると、メイン画面が表示されます。メイン画面は、ルールを運用する [ルール運用] ページと、ルールを編集する [ルール編集] ページで構成されます。

メイン画面の表示例を次に示します。

図 1-2 メイン画面の表示例



メイン画面に表示される情報は、60 秒間隔で最新に更新されます。自動更新の有無や更新間隔は、ルールオペレーション・ビューアー動作定義ファイルで変更できます。設定の詳細については、マニュアル「JP1/Integrated Management・Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

1.2.1 メイン画面の詳細

表示項目を次に示します。

(1) ツールバー

他製品のビューアーを起動する場合、およびオンラインマニュアルを起動する場合に使用します。



JP1/IM - CC View ボタン

1. 画面

セントラルコンソール・ビューアーを起動します。



JP1/IM - CS View ボタン

セントラルスコープ・ビューアーを起動します。



JP1/IM - CM View ボタン

セントラルインフォメーションマスター・ビューアーを起動します。



ヘルプボタン

オンラインマニュアルを起動します。

(2) メニュー

メイン画面のメニュー項目を次の表に示します。

表 1-1 メイン画面のメニュー項目

メニュー	コマンド		機能
ファイル	新規作成	ルールグループ	選択したルールグループの下に、ルールグループを作成します。[詳細定義 - [ルールグループ]] 画面が表示されます。
		ルール	選択したルールグループの下に、ルールを作成します。[詳細定義 - [ルール]] 画面が表示されます。 なお、このコマンドは、[ルール編集] ページだけで使用できます。
	終了 (ログアウト)		JP1/IM - RL からログアウトし、ルールオペレーション・ビューアーを終了します。
編集	編集		[ルールエディタ] 画面が表示され、選択したルールの定義内容を表示または編集できます。 なお、このコマンドは、[ルール編集] ページだけで使用できます。
	コピー		選択したルールをコピーします。ルールグループはコピーできません。 なお、このコマンドは、[ルール編集] ページだけで使用できます。
	貼り付け		コピーしたルールを、選択したルールグループに貼り付けます。 なお、このコマンドは、[ルール編集] ページだけで使用できます。
	削除		選択したルールまたはルールグループを削除します。 なお、下位にルールグループやルールが含まれるルールグループは削除できません。また、[ルール運用] ページで適用状態のルールも削除できません。

メニュー	コマンド	機能
	プロパティ	詳細定義画面に、選択したルールまたはルールグループのプロパティが表示されます。
操作	ルールの登録	[ルール編集] ページでコピーしたルールを、[ルール運用] ページでシステムに登録します。
	ルールの適用	[ルール運用] ページで選択した未適用状態のルールを、適用状態にします。
	ルールの適用解除	[ルール運用] ページで選択したルールの適用を解除します。
	ルールモニタ	[ルールモニタ] 画面に、[ルール運用] ページのルールインスタンスリスト表示エリアで選択したルールインスタンスの状態を表示します。
	キャンセル	[ルール運用] ページのルールインスタンスリスト表示エリアで選択したルールインスタンスをキャンセルします。
表示	ルール監視	[ルール監視] 画面に、[ルール運用] ページで選択したルールグループ配下にあるルールの状態を表示します。
	ルール実行履歴	[ルール実行履歴] 画面に、JP1/IM・RL で実行したすべてのルールインスタンスの状態を表示します。
	JP1/IM・CC View	セントラルコンソール・ビューアーを起動します。
	JP1/IM・CS View	セントラルスコープ・ビューアーを起動します。
	JP1/IM・CM View	セントラルインフォメーションマスター・ビューアーを起動します。
	最新情報に更新	最新情報を取得し、メイン画面の表示内容を更新します。
ヘルプ	目次	オンラインマニュアルの目次を表示します。
	バージョン情報	JP1/IM・RL のバージョン情報を表示します。

(3) ステータスバー

ステータスバーに表示される項目を次に示します。

最終アクセス時刻

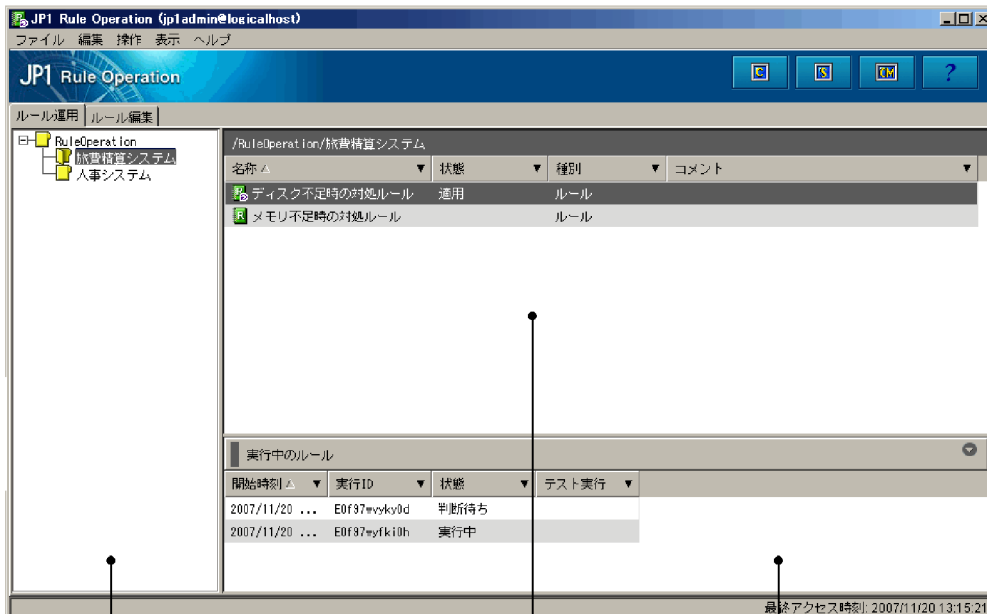
接続先の JP1/IM・RL ホストから、[ルール運用] ページや [ルール編集] ページに表示する内容を送受信した最終時刻です。

1.2.2 [ルール運用] ページ

[ルール運用] ページは、ルールを運用または監視する画面です。[ルール運用] ページの表示例を次に示します。

1. 画面

図 1-3 [ルール運用] ページの表示例



ルール運用ツリー
表示エリア

ルール運用リスト
表示エリア

ルールインスタンス
リスト表示エリア


表示項目を次に示します。

(1) ルール運用ツリー表示エリア

ルール運用グループをツリー表示します。ルール運用グループ名をクリックすると、選択したルール運用グループが操作対象になります。



(2) ルール運用リスト表示エリア


ルール運用ツリー表示エリアで選択したルール運用グループに含まれるルールおよびルール運用グループを一覧表示します。

項目名をクリックすると、クリックした項目名をキーにソートします。また、各項目名の「」をクリックして表示されるメニューから項目を選択すると、選択した項目を含むデータだけを絞り込んで表示します。

[名称]

ルール名称またはルール運用グループ名称が表示されます。名称の横に表示されるアイコンの意味は次のとおりです。

-  : 未適用状態のルール
-  : 適用状態のルール

-  : ルール運用グループ

[状態]

ルールの適用状態が表示されます。

- 適用中の場合 : 適用
- 未適用の場合 : 空欄

[種別]

「ルールグループ」または「ルール」が表示されます。


[コメント]


ルールまたはルール運用グループのコメントが表示されます。

(3) ルールインスタンスリスト表示エリア

ルール運用リスト表示エリアで選択しているルールのルールインスタンスのうち、次に示す状態のものを表示します。

- キューイング中
- 実行中
- 判断待ち

項目名をクリックすると、クリックした項目名をキーにソートします。また、各項目名の「」をクリックして表示されるメニューから項目を選択すると、選択した項目を含むデータだけを絞り込んで表示します。

開閉ボタン  をクリックすると、ルールインスタンスリスト表示エリアの開閉を切り替えます。

[開始時刻]

ルールインスタンスの開始時刻が表示されます。


[実行 ID]

ルールインスタンスの実行 ID が表示されます。

[状態]

ルールインスタンスの状態が表示されます。

[テスト実行]

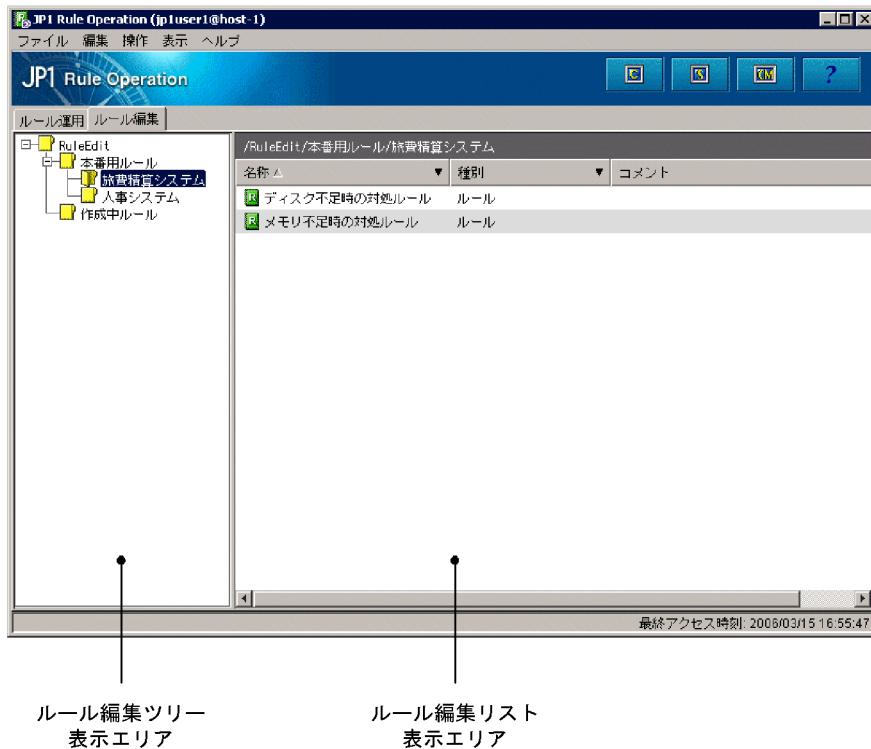
`jrmtestrule` コマンドによるテスト実行で生成したルールインスタンスには、テスト実行アイコン  が表示されます。

[テスト実行] 列は、デフォルトでは表示しない設定になっています。表示する方法については、マニュアル「JP1/Integrated Management・Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

1.2.3 [ルール編集] ページ

[ルール編集] ページは、ルールを作成または編集する画面です。[ルール編集] ページの表示例を次に示します。

図 1-4 [ルール編集] ページの表示例



表示項目を次に示します。

(1) ルール編集ツリー表示エリア

ルール編集グループをツリー表示します。ルール編集グループ名をクリックすると、選択したルール編集グループが操作対象になります。

(2) ルール編集リスト表示エリア



ルール編集ツリー表示エリアで選択しているルール編集グループに含まれるルールおよびルール編集グループを一覧表示します。

項目名をクリックすると、クリックした項目名をキーにソートできます。また、各項目名の「」をクリックして表示されるメニューから項目を選択すると、選択した項目を含むデータだけを絞り込んで表示できます。

[名称]

ルール名称またはルール編集グループ名称が表示されます。名称の横に表示される

アイコンの意味は次のとおりです。

-  : ルール
-  : ルール編集グループ

[種別]

「ルール」または「ルールグループ」が表示されます。

[コメント]

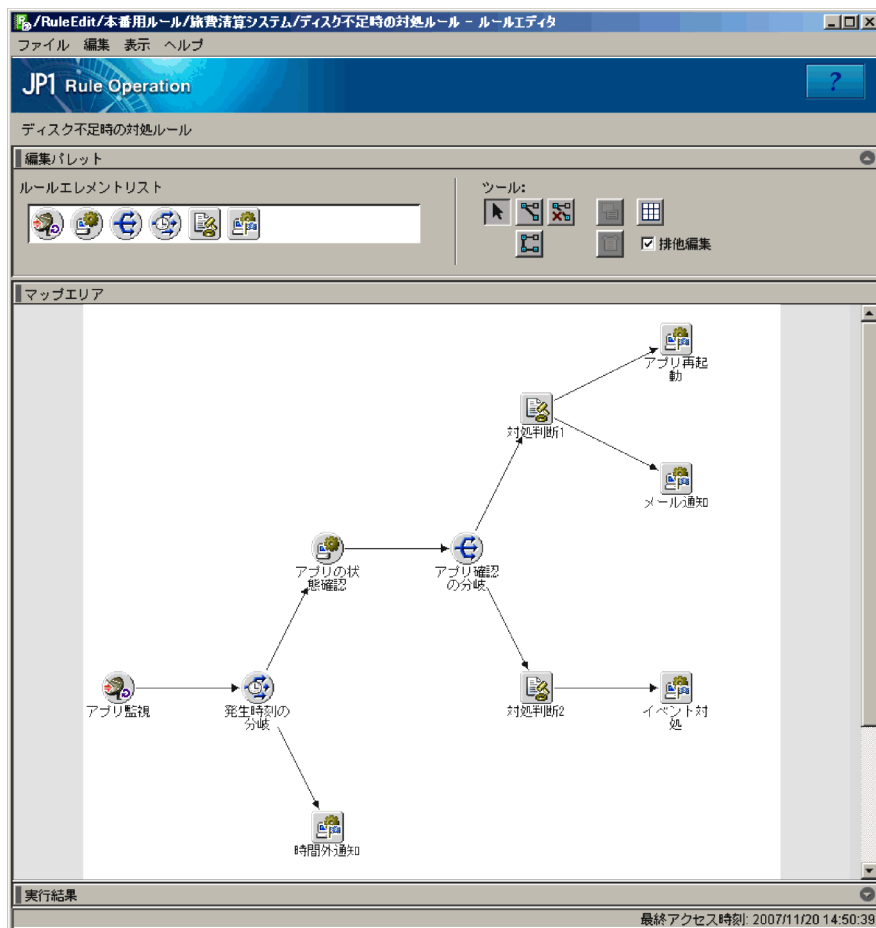
ルールまたはルール編集グループのコメントが表示されます。

1.3 [ルールエディタ]画面

[ルールエディタ]画面では、ルールの内容を編集します。なお、ルールを編集するには、排他編集権限が必要です。

[ルールエディタ]画面の表示例を次に示します。

図 1-5 [ルールエディタ]画面の表示例



[ルールエディタ]画面は、同時に二つの画面を表示できます。

表示項目を次に示します。


(1) メニュー

[ルールエディタ]画面のメニュー項目を次の表に示します。なお、マップエリアで右クリックすると、[編集]メニューと同じ項目のポップアップメニューが表示されます。

表 1-2 [ルールエディタ]画面のメニュー項目

メニュー	コマンド		機能
ファイル	閉じる		[ルールエディタ]画面を閉じます。排他編集権限がある場合は、同時に排他編集権限を解放します。
編集	編集モード	標準	ルールエレメントを選択する「標準」モードになります。
		関連線接続	ルールエレメントを関連線で接続する「関連線接続」モードになります。
		関連線連続接続	ルールエレメントを関連線で連続して接続する「関連線連続接続」モードになります。
		関連線削除	関連線を削除する「関連線削除」モードになります。
		排他編集	排他編集権限を取得または解放します。
	コピー		マップエリアで選択したルールエレメントをコピーします。
	貼り付け		コピーしたルールエレメントを、マップエリアに貼り付けます。
	削除		マップエリアで選択したルールエレメントを削除します。
	プロパティ		詳細定義画面に、マップエリアで選択したルールエレメントのプロパティを表示します。排他編集権限を取得している場合は、定義内容を編集できます。
	表示	グリッド線	
編集パレット		編集パレットを開きます。または開いている編集パレットエリアを閉じます。	
最新情報に更新		最新情報を取得し、[ルールエディタ]画面の表示内容を更新します。	
ヘルプ	目次		オンラインマニュアルの目次を表示します。
	バージョン情報		JP1/IM・RLのバージョン情報を表示します。

(2) 編集パレット

ルールを編集するための機能を、ボタンにしています。開閉ボタン  をクリックすると、編集パレットの開閉を切り替えます。

(a) ルールエレメントリスト

各ルールエレメントのアイコンが表示されます。アイコンを、マップエリアにドラッグアンドドロップすると、ルールにルールエレメントを追加し、詳細定義画面が表示されます。

1. 画面



ルール起動条件ルールエレメント

ルール起動条件ルールエレメントを、ルールに追加します。このアイコンをマップエリアにドロップすると、[詳細定義 - [ルール起動条件]] 画面が表示されます。



コマンド実行ルールエレメント

コマンド実行ルールエレメントを、ルールに追加します。このアイコンをマップエリアにドロップすると、[詳細定義 - [コマンド実行]] 画面が表示されます。



分岐ルールエレメント

分岐ルールエレメントを、ルールに追加します。このアイコンをマップエリアにドロップすると、[詳細定義 - [分岐]] 画面が表示されます。



時刻分岐ルールエレメント

時刻分岐ルールエレメントを、ルールに追加します。このアイコンをマップエリアにドロップすると、[詳細定義 - [時刻分岐]] 画面が表示されます。



判断待ちルールエレメント

判断待ちルールエレメントを、ルールに追加します。このアイコンをマップエリアにドロップすると、[詳細定義 - [判断待ち]] 画面が表示されます。



対処(コマンド)ルールエレメント

対処(コマンド)ルールエレメントを、ルールに追加します。このアイコンをマップエリアにドロップすると、[詳細定義 - [対処(コマンド)]] 画面が表示されま
す。

(b) ツールエリア

ルールを編集するメニューがボタンで表示されます。



[標準] ボタン

ルールエレメントを選択する「標準」モードになります。



[関連線接続] ボタン

ルールエレメントを関連線で接続する「関連線接続」モードになります。



[関連線連続接続] ボタン

ルールエレメントを関連線で連続して接続する「関連線連続接続」モードになりま

す。



[関連線削除] ボタン

関連線を削除する「関連線削除」モードになります。



[コピー] ボタン

マップエリアで選択したルールエレメントをコピーします。



[貼り付け] ボタン

コピーした内容を、マップエリアに貼り付けます。



[グリッド線] ボタン

マップエリアのグリッド線の表示 / 非表示を指定します。

[排他編集] チェックボックス

排他編集権限を取得または解放します。

(3) マップエリア

ルールを編集するエリアです。ルールエレメントを配置し、関連線で接続します。このエリアは、10 × 10のグリッドで構成され、ルールエレメントは1グリッドに一つだけ配置できます。

アイコンの背景色

編集中のルールエレメントは、アイコンの背景色が灰色で表示されます。



(4) 実行結果

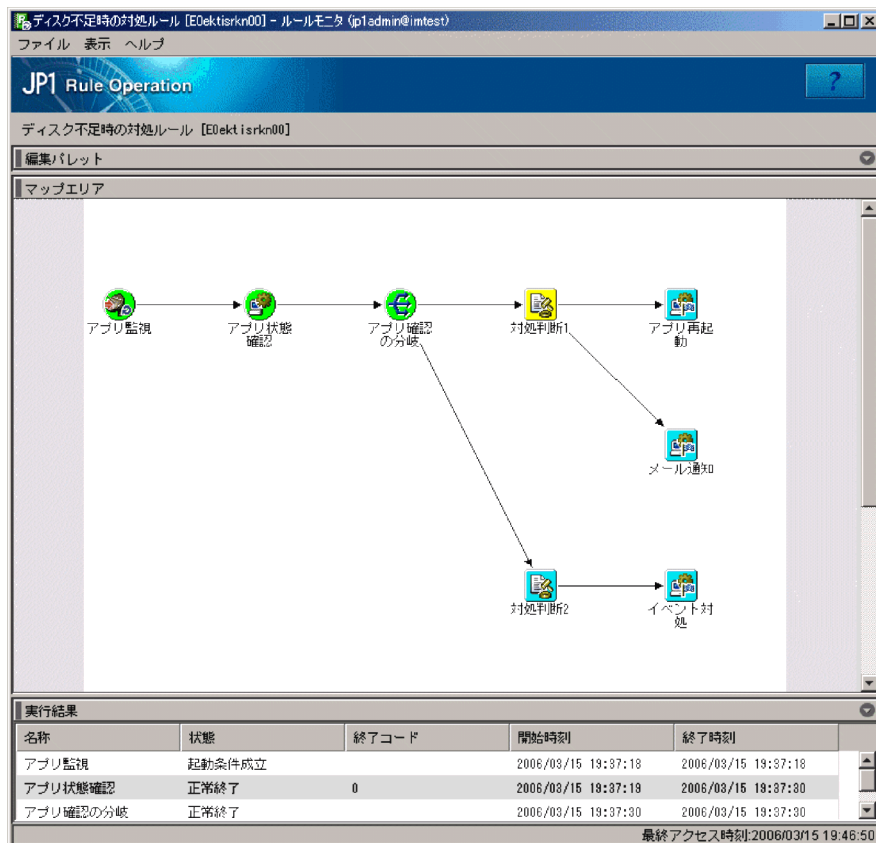
[ルールエディタ] 画面では表示できません。

1.4 [ルールモニタ]画面

[ルールモニタ]画面では、ルールインスタンスの状態や実行結果を、ルールエレメント単位で確認できます。なお、各ルールエレメントのモニタ詳細画面から詳細定義画面を表示した場合、詳細定義画面は編集できません。

[ルールモニタ]画面の表示例を次に示します。

図 1-6 [ルールモニタ]画面の表示例



[ルールモニタ]画面は、同時に二つの画面を表示できます。

(1) メニュー

[ルールモニタ]画面のメニュー項目を次の表に示します。

表 1-3 [ルールモニタ]画面のメニュー項目

メニュー	コマンド	機能
ファイル	閉じる	[ルールモニタ]画面を閉じます。

メニュー	コマンド	機能
表示	モニタ詳細	モニタ詳細画面に、マップエリアで選択しているルールエレメントの実行結果を表示します。
	グリッド線	マップエリアのグリッド線の表示 / 非表示を指定します。
	実行結果	実行結果エリアを開きます。または開いている実行結果エリアを閉じます。
	最新情報に更新	最新情報を取得し、[ルールモニタ]画面の表示内容を更新します。
ヘルプ	目次	オンラインマニュアルの目次を表示します。
	バージョン情報	JP1/IM - RLのバージョン情報を表示します。

(2) 編集パレット

[ルールモニタ]画面では表示できません。

(3) マップエリア

ルールの状態や実行結果を確認するエリアです。

ルールエレメントの状態とアイコンの背景色

マップエリア上のルールエレメントの状態は、アイコンの背景色で示されます。ルールエレメントの状態とアイコンの背景色の関係を次の表に示します。


表 1-4 ルールエレメントの状態とアイコンの背景色

ルールエレメントの状態	アイコンの背景色	例
起動条件成立	緑	
実行開始待ち	空色	
実行中	深緑	
判断待ち	黄色	
強制終了中	黄色	
正常終了	緑	
異常終了	赤	

1. 画面

ルールエレメントの状態	アイコンの背景色	例
強制終了	赤	
未実行終了	灰色	
終了状態不明	灰色	

(4) 実行結果

各ルールエレメントの実行状況，実行結果が一覧で表示されます。開閉ボタン  をクリックすると，実行結果の開閉を切り替えます。

[名称]

ルールエレメントの名称が表示されます。

[状態]

ルールエレメントの状態が表示されます。

[終了コード]

コマンド実行ルールエレメントおよび対処（コマンド）ルールエレメントの終了コードが表示されます。それ以外のルールエレメントの場合は，空欄です。

[開始時刻]

ルールエレメントの実行開始時刻が表示されます。

[終了時刻]

ルールエレメントの終了時刻が表示されます。

1.5 [ルール監視]画面

[ルール監視]画面では,[ルール運用]ページで選択したルール運用グループ内のルールインスタンスの実行状況を表示します。

[ルール監視]画面の表示例を次に示します。

図 1-7 [ルール監視]画面の表示例

実行ID	ルール完全名	実行状態	開始時刻	終了時刻	運用状態	テスト実行
EBF97w1e1100	/RuleOperation/運用テスト/...	強制終了	2007/11/20 13:02:46	2007/11/20 13:04:01	登録中	<input type="checkbox"/>
EBF97w4b8092	/RuleOperation/運用テスト/...	正常終了	2007/11/20 13:04:21	2007/11/20 13:04:36	登録中	<input type="checkbox"/>
EBF97waf1245	/RuleOperation/ディスク不足...	正常終了	2007/11/20 13:05:19	2007/11/20 13:06:23	登録中	<input type="checkbox"/>
EBF97wmp034	/RuleOperation/ディスク不足...	正常終了	2007/11/20 13:06:02	2007/11/20 13:06:32	登録中	<input type="checkbox"/>
EBF97wujw095	/RuleOperation/メモリ不足時...	正常終了	2007/11/20 13:08:05	2007/11/20 13:08:48	登録中	<input type="checkbox"/>
EBF97wms036	/RuleOperation/ディスク不足...	判断待ち	2007/11/20 13:08:55	-	登録中	<input type="checkbox"/>

ルールインスタンスリスト表示テーブル

表示項目を次に示します。

(1) ツールバー

[最新情報に更新]ボタン

ルールインスタンスリスト表示テーブルの表示内容を、最新の内容に更新します。

[表示設定]ボタン

[表示設定]画面を表示します。[表示設定]画面で条件を指定し,[ルール監視]画面に表示する内容を絞ることができます。

(2) ルールインスタンスリスト表示テーブル

項目名をクリックすると、クリックした項目名をキーにソートできます。

[実行ID]

ルールの実行IDが表示されます。

[ルール完全名]

ルールのパスと名称が表示されます。

[実行状態]

ルールインスタンスの状態が表示されます。

[開始時刻]

1. 画面

ルールインスタンスの実行開始時刻が表示されます。

[終了時刻]

ルールインスタンスの終了時刻が表示されます。

[運用状態]

ルールインスタンスのルールが,[ルール運用] ページに登録中かどうかを表示します。[ルール監視] 画面には,「登録中」のルールだけが表示されます。[ルール運用] ページから削除されたルールのルールインスタンスは表示されません。

[テスト実行]

jrmtestrule コマンドによるテスト実行で生成したルールインスタンスには,テスト実行アイコン **T** が表示されます。

[テスト実行] 列は,デフォルトでは表示しない設定になっています。表示する方法については,マニュアル「JP1/Integrated Management - Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

(3) ポップアップメニュー

ルールインスタンスを選択して右クリックしたときに表示されるポップアップメニュー項目を次の表に示します。

表 1-5 [ルール監視] 画面のポップアップメニュー項目

コマンド	機能
ルールモニタ	選択したルールインスタンスの [ルールモニタ] 画面を表示します。
再実行	選択したルールインスタンスを再実行します。次の状態のルールインスタンスに対して再実行できます。 <ul style="list-style-type: none">• 正常終了• 異常終了• 強制終了• 終了状態不明 メイン画面の [ルール運用] ページから削除されたルールのルールインスタンス (運用状態が「-」のルールインスタンス) は再実行できません。
キャンセル	選択したルールインスタンスの実行をキャンセルします。次の状態のルールインスタンスに対してキャンセルできます。 <ul style="list-style-type: none">• キューイング中• 実行中• 判断待ち
削除	選択したルールインスタンスを削除します。JP1/IM - View と JP1/IM - RL のバージョンが 08-01 以降の場合にルールインスタンスを削除できます。

1.6 [ルール実行履歴] 画面

[ルール実行履歴] 画面では、終了したルールインスタンスの実行履歴を確認できます。削除されたルールに関連するルールインスタンスの実行履歴も、[ルール実行履歴] 画面に表示されます。

[ルール実行履歴] 画面の表示例を次に示します。

図 1-8 [ルール実行履歴] 画面の表示例

実行ID	ルール完全名	実行状態	開始時刻	終了時刻	運用状態	テスト実行
EM87wicl100	/RuleOperation/運用テスト/メ...	強制終了	2007/11/20 13:02:48	2007/11/20 13:04:61	登録中	<input type="checkbox"/>
EM87wicl091	/RuleOperation/運用テスト/メ...	正常終了	2007/11/20 13:03:11	2007/11/20 13:03:50	登録中	<input type="checkbox"/>
EM87wicl092	/RuleOperation/運用テスト/メ...	正常終了	2007/11/20 13:04:21	2007/11/20 13:04:38	登録中	<input type="checkbox"/>
EM87wicl093	/RuleOperation/ディスク不足...	正常終了	2007/11/20 13:05:59	2007/11/20 13:06:28	登録中	<input type="checkbox"/>
EM87wicl094	/RuleOperation/ディスク不足...	正常終了	2007/11/20 13:06:02	2007/11/20 13:06:22	登録中	<input type="checkbox"/>
EM87wicl095	/RuleOperation/メモリ不足時...	正常終了	2007/11/20 13:06:05	2007/11/20 13:06:48	登録中	<input type="checkbox"/>

ルールインスタンスリスト表示テーブル

表示項目を次に示します。

(1) ツールバー

[最新情報に更新] ボタン

ルールインスタンスリスト表示テーブルの表示内容を、最新の内容に更新します。

[表示設定] ボタン

[表示設定] 画面を表示します。[表示設定] 画面で条件を指定し、[ルール実行履歴] 画面に表示する内容を絞ることができます。

(2) ルールインスタンスリスト表示テーブル

項目名をクリックすると、クリックした項目名をキーにソートできます。

[実行 ID]

ルールの実行 ID が表示されます。

[ルール完全名]

ルールのパスと名称が表示されます。

[実行状態]

ルールインスタンスの状態が表示されます。

1. 画面

[開始時刻]

ルールインスタンスの実行開始時刻が表示されます。

[終了時刻]

ルールインスタンスの終了時刻が表示されます。

[運用状態]

ルールインスタンスのルールが、[ルール運用] ページに登録中かどうかを表示します。

- 登録中の場合：登録中
- 未登録（ルールが削除されている）の場合： -

[テスト実行]

jrmtestrule コマンドによるテスト実行で生成したルールインスタンスには、テスト実行アイコン **T** が表示されます。

[テスト実行] 列は、デフォルトでは表示しない設定になっています。表示する方法については、マニュアル「JP1/Integrated Management - Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

(3) ポップアップメニュー

ルールインスタンスを選択して右クリックしたときに表示されるポップアップメニュー項目を次の表に示します。

表 1-6 [ルール実行履歴] 画面のポップアップメニュー項目

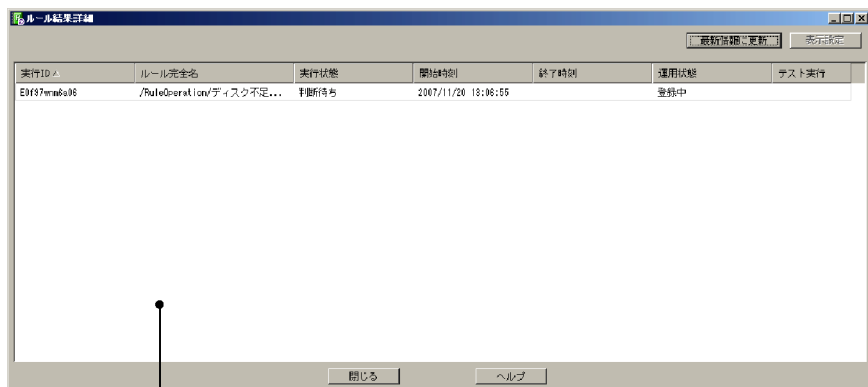
コマンド	機能
ルールモニタ	選択したルールインスタンスの [ルールモニタ] 画面を表示します。
再実行	選択したルールインスタンスを再実行します。運用状態が「登録中」で、かつ次の状態のルールインスタンスに対して再実行できます。 <ul style="list-style-type: none">• 正常終了• 異常終了• 強制終了• 終了状態不明 メイン画面の [ルール運用] ページから削除されたルールのルールインスタンス（運用状態が「-」のルールインスタンス）は再実行できません。
削除	選択したルールインスタンスを削除します。JP1/IM - View と JP1/IM - RL のバージョンが 08-01 以降の場合にルールインスタンスを削除できます。

1.7 [ルール結果詳細] 画面

[ルール結果詳細] 画面では、ルール起動対象イベントから起動されたすべてのルールインスタンスの実行結果を表示します。この画面は、セントラルコンソール・ビューアーの [アクション結果] 画面または [アクション結果一覧] 画面から起動されます。

[ルール結果詳細] 画面の表示例を次に示します。

図 1-9 [ルール結果詳細] 画面の表示例



ルールインスタンスリスト表示テーブル

表示項目を次に示します。

(1) ツールバー

[最新情報に更新] ボタン

ルールインスタンスリスト表示テーブルの表示内容を、最新の内容に更新します。

[表示設定] ボタン

[ルール結果詳細] 画面では、常に非活性です。

(2) ルールインスタンスリスト表示テーブル

項目名をクリックすると、クリックした項目名をキーにソートできます。

[実行 ID]

ルールの実行 ID が表示されます。

[ルール完全名]

ルールのパスと名称が表示されます。

[実行状態]

ルールインスタンスの状態が表示されます。

[開始時刻]

1. 画面

ルールインスタンスの実行開始時刻が表示されます。

[終了時刻]

ルールインスタンスの終了時刻が表示されます。

[運用状態]

ルールインスタンスのルールが、[ルール運用] ページに登録中かどうかを表示します。

- 登録中の場合：登録中
- 未登録（ルールが削除されている）の場合： -

[テスト実行]

jrmtestrule コマンドによるテスト実行で生成したルールインスタンスには、テスト実行アイコン **T** が表示されます。

[テスト実行] 列は、デフォルトでは表示しない設定になっています。表示する方法については、マニュアル「JP1/Integrated Management - Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

(3) ポップアップメニュー

ルールインスタンスを選択して右クリックしたときに表示されるポップアップメニュー項目を次の表に示します。

表 1-7 [ルール監視] 画面のポップアップメニュー項目

コマンド	機能
ルールモニタ	選択したルールインスタンスの [ルールモニタ] 画面を表示します。
再実行	選択したルールインスタンスを再実行します。運用状態が「登録中」で、かつ次の状態のルールインスタンスに対して再実行できます。 <ul style="list-style-type: none">• 正常終了• 異常終了• 強制終了• 終了状態不明 メイン画面の [ルール運用] ページから削除されたルールのルールインスタンス（運用状態が「 - 」のルールインスタンス）は再実行できません。
キャンセル	選択したルールインスタンスの実行をキャンセルします。次の状態のルールインスタンスに対してキャンセルできます。 <ul style="list-style-type: none">• キューイング中• 実行中• 判断待ち
削除	選択したルールインスタンスを削除します。JP1/IM - View と JP1/IM - RL のバージョンが 08-01 以降の場合にルールインスタンスを削除できます。

1.8 [表示設定] 画面

[表示設定] 画面では, [ルール監視] 画面, または [ルール実行履歴] 画面に表示するルールインスタンスの条件を表示または設定します。

[表示設定] 画面の表示例を次に示します。

図 1-10 [表示設定] 画面の表示例

表示項目を次に示します。

[グループ名称]

表示条件としてルール運用グループ名称を指定します。

チェックボックスをチェックし, ルール運用グループ名称を入力します。ルール運用グループ名称には正規表現が使用できます。使用できる正規表現については, マニュアル「JP1/Integrated Management - Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

入力できる文字数：1 ~ 4,096 バイト

[ルール名称]

表示条件としてルール名称を指定します。チェックボックスをチェックし, ルール名称を入力します。ルール名称には正規表現が使用できます。使用できる正規表現については, マニュアル「JP1/Integrated Management - Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

入力できる文字数：1 ~ 4,096 バイト

1. 画面

[実行状態]

表示条件としてルールインスタンスの状態を指定します。チェックボックスをチェックし、表示したい状態項目を指定します。複数の項目を指定できます。

[開始時刻]

開始時刻を指定する場合は、チェックボックスをチェックし、開始時刻の範囲を指定します。開始時刻の範囲を指定するには、基準時刻と期間を指定するか、基準時刻と範囲終了の日時を指定します。

基準時刻と期間を指定する場合

基準時刻を入力してから、[期間指定] を選択し、基準時刻の前または後ろの何分間（何時間、何日間）を対象とするかを指定します。

基準時刻と範囲終了の日時を指定する場合

基準時刻を入力してから、[日時指定] を選択し、検索対象範囲の終了日時を指定します。

基準時刻に現在の時刻を指定する場合は、[現在時刻] をクリックします。

[終了時刻]

終了時刻を指定する場合は、チェックボックスをチェックし、終了時刻の範囲を指定します。終了時刻の範囲を指定するには、基準時刻と期間を指定するか、基準時刻と範囲終了の日時を指定します。

基準時刻と期間を指定する場合

基準時刻を入力してから、[期間指定] を選択し、基準時刻の前または後ろの何分間（何時間、何日間）を対象とするかを指定します。

基準時刻と範囲終了の日時を指定する場合

基準時刻を入力してから、[日時指定] を選択し、検索対象範囲の終了日時を指定します。

基準時刻に現在の時刻を指定する場合は、[現在時刻] をクリックします。

[運用状態]

表示条件としてルールが登録中か未登録かを指定します。チェックボックスをチェックし、表示するルールを次のどちらに絞り込むのかを指定します。

- 登録中のルール
- 未登録のルール

[テスト実行]

表示条件としてテスト実行が通常実行かを指定します。チェックボックスをチェックし、表示するルールを次のどちらに絞り込むのかを指定します。

- jrmtestrule コマンドによるテスト実行で起動したルール
- JP1 イベント発行が契機で起動した通常実行のルール

[テスト実行] エリアは、[ルール監視] 画面または [ルール実行履歴] 画面に [テ

スト実行」列が表示される場合だけ有効です。

1.9 詳細定義画面

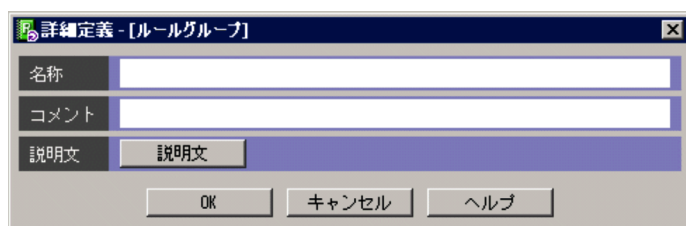
この節では、ルール、ルールグループ、およびルールエレメントの詳細を定義する画面について説明します。なお、各ルールエレメントのモニタ詳細画面から詳細定義画面を表示した場合、設定内容の表示はできますが、設定はできません。

1.9.1 [詳細定義 - [ルールグループ]] 画面

ルールグループのプロパティを表示または設定します。

[詳細定義 - [ルールグループ]] 画面の表示例を次に示します。

図 1-11 [詳細定義 - [ルールグループ]] 画面の表示例



表示項目を次に示します。

[名称]

ルールグループの名称を設定します。

指定できる文字数：1 ~ 255 バイト

最上位のルールグループ「RuleOperation」、*「RuleEdit」*の場合は修正できません。

[コメント]

ルールグループへのコメントを設定します。

指定できる文字数：0 ~ 80 バイト

[説明文]

[説明文] 画面を表示します。詳細は「1.9.13 [説明文] 画面」を参照してください。

1.9.2 [詳細定義 - [ルール]] 画面

ルールのプロパティを表示または設定します。

[詳細定義 - [ルール]] 画面の表示例を次に示します。

図 1-12 [詳細定義 - [ルール]]画面の表示例

The screenshot shows a dialog box titled "詳細定義 - [ルール]". It has three main input areas: "名称" (Name), "コメント" (Comment), and "説明文" (Description). Below these is a section for "定義 | 属性" (Definition | Attributes) containing a "遅延監視" (Delay Monitoring) checkbox and a "実行所要時間" (Execution Required Time) field with a unit of "分" (minutes). At the bottom, there are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "ヘルプ" (Help).

表示項目を次に示します。

[名称]

ルールの名称を設定します。
指定できる文字数：1 ~ 255 バイト

[コメント]

ルールのコメントを設定します。
指定できる文字数：0 ~ 80 バイト

[説明文]

[説明文] 画面を表示します。詳細は「1.9.13 [説明文] 画面」を参照してください。

[定義] ページ

[遅延監視]

ルールの遅延監視をするかどうかを設定します。デフォルトは、チェックされていません。遅延監視する場合は、[遅延監視する] をチェックして、[実行所要時間] に遅延監視の時間を分単位で指定します。
指定できる時間：1 ~ 2,879 分

[属性] ページ

[JP1 資源グループ]

ルールを JP1 資源グループに割り当てる場合に、JP1 資源グループ名を指定します。この項目を指定すると、指定した JP1 資源グループに割り当てられた JP1 ユーザーだけが、ルールを編集できます。
JP1 資源グループ名には、空白、タブ、"、[、]、:、;、|、/、=、,、+、?、<、> は使用できません。
指定できる文字数：0 ~ 64 バイト

1.9.3 [詳細定義 - [ルール起動条件]] 画面

[詳細定義 - [ルール起動条件]] 画面では、ルールを起動する JP1 イベントの条件を指定します。

[詳細定義 - [ルール起動条件]] 画面の表示例を次に示します。

図 1-13 [詳細定義 - [ルール起動条件]] 画面の表示例

表示項目を次に示します。

[名称]

ルールエレメントの名称を設定します。

指定できる文字数：1 ~ 255 バイト

[コメント]

ルールエレメントのコメントを設定します。

指定できる文字数：0 ~ 80 バイト

[説明文]

[説明文] 画面を表示します。詳細は「1.9.13 [説明文] 画面」を参照してください。

[定義] ページ

ルールを起動する JP1 イベントの条件を設定します。一つ以上指定してください。正規表現については、マニュアル「JP1/Integrated Management - Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

[登録ホスト]

JP1 イベントが発生したホストのホスト名を指定します。複数のホストを指定したい場合は、コンマで区切って指定します。最大 100 個のホスト名を指定できます。ただし、右側のリストボックスで [正規表現] を指定した場合は、複数ホストの指定はできません。名称に「,」または「¥」を指定する場合は、それぞれ「¥,」または「¥¥」と指定します。

右側のリストボックスでは、指定した文字列に対する条件として、[と一致する], [と一致しない], [から始まる], [を含む], [を含まない], [正規表現] のどれかを選択します。

指定できる文字数：1 ~ 4,096 バイト

[重大度]

取得するイベントの重大度を指定します。[緊急], [警戒], [致命的], [エラー], [警告], [通知], [情報], [デバッグ] の中から必要な項目をチェックします。複数の項目を指定できます。

[オブジェクトタイプ]

JP1 イベントのオブジェクトタイプを指定します。値は直接入力するか、リストボックスの [JOB], [JOBNET], [BATCHJOB], [ACTION], [LIST] から選択します。

右側のリストボックスでは、指定した文字列に対する条件として、[と一致する], [と一致しない], [から始まる], [を含む], [を含まない], [正規表現] のどれかを選択します。

指定できる文字数：1 ~ 4,096 バイト

[オブジェクト名]

JP1 イベントのオブジェクト名を指定します。

複数のオブジェクトを指定したい場合は、コンマで区切って指定します。最大 100 個のオブジェクト名が指定できます。ただし、右側のリストボックスで [正規表現] を指定した場合は、複数オブジェクトの指定はできません。名称に「,」または「¥」を指定する場合は、それぞれ「¥,」または「¥¥」と指定します。

右側のリストボックスでは、指定した文字列に対する条件として、[と一致する], [と一致しない], [から始まる], [を含む], [を含まない], [正規表現] のどれかを選択します。

指定できる文字数：1 ~ 4,096 バイト

[登録名タイプ]

1. 画面

JP1 イベントの登録名タイプを指定します。値は直接入力するか、リストボックスの [JOB],[JOBNET],[BATCHJOB],[ACTION],[LIST] から選択します。

右側のリストボックスでは、指定した文字列に対する条件として、[と一致する],[と一致しない],[から始まる],[を含む],[を含まない],[正規表現]のどれかを選択します。

指定できる文字数：1 ~ 4,096 バイト

[登録名]

JP1 イベントの登録名を指定します。

右側のリストボックスでは、指定した文字列に対する条件として、[と一致する],[と一致しない],[から始まる],[を含む],[を含まない],[正規表現]のどれかを選択します。

指定できる文字数：1 ~ 4,096 バイト

[事象種別]

JP1 イベントの事象種別を指定します。

右側のリストボックスでは、指定した文字列に対する条件として、[と一致する],[と一致しない],[から始まる],[を含む],[を含まない],[正規表現]のどれかを選択します。

指定できる文字数：1 ~ 4,096 バイト

[ユーザー名]

JP1 イベントのユーザー名を指定します。

複数のユーザーを指定したい場合は、コンマで区切って指定します。最大 100 人のユーザー名が指定できます。ただし、右側のリストボックスで [正規表現] を指定した場合は、複数ユーザーの指定はできません。名称に「,」または「¥」を指定する場合は、それぞれ「¥,」または「¥¥」と指定します。

右側のリストボックスでは、指定した文字列に対する条件として、[と一致する],[と一致しない],[から始まる],[を含む],[を含まない],[正規表現]のどれかを選択します。

指定できる文字数：1 ~ 4,096 バイト

[メッセージ]

JP1 イベントのメッセージテキストを指定します。

右側のリストボックスでは、指定した文字列に対する条件として、[と一致する],[と一致しない],[から始まる],[を含む],[を含まない],[正規表現]のどれかが選択できますが、[から始まる]または[を含む]を選択することを推奨します。正規表現で指定する場合は、メッセージテキストの制御コード以外の部分を記述するようにしてください。

指定できる文字数：1 ~ 4,096 バイト

[プロダクト名]

JP1 イベントを発行したプログラムの名称を指定します。

右側のリストボックスでは、指定した文字列に対する条件として、[と一致す

る],[と一致しない],[から始まる],[を含む],[を含まない],[正規表現]のどれかを選択します。

指定できる文字数：1～4,096バイト

[イベント ID]

JP1 イベントの ID を指定します。

複数のイベント ID を指定したい場合は、コンマで区切って指定します。最大 100 個のイベント ID が指定できます。イベント ID の上位 0 の桁は省略できます。例えば、「00001100」または「1100」のどちらでも指定できます。

イベント ID は半角英数字または「,」で指定します。

指定できる文字数：1～4,096バイト

[拡張属性] 一覧

拡張属性を指定します。指定できる拡張属性は 5 件です。比較条件は正規表現です。

右側のボタンで拡張属性の追加、編集、削除をします。

- [追加] ボタン

拡張属性を追加します。[イベント拡張属性] 画面が表示されます。拡張属性は、「属性名：属性値」の形式で 5 件まで登録できます。

- [編集] ボタン

[拡張属性] 一覧で選択した拡張属性の内容を編集します。[イベント拡張属性] 画面が表示されます。

- [削除] ボタン

[拡張属性] 一覧で選択した拡張属性を削除します。

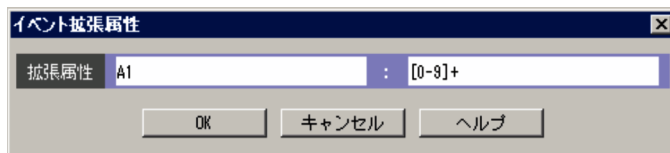
1.9.4 [イベント拡張属性] 画面

イベント拡張属性を表示または設定します。[詳細定義 - [ルール起動条件]] 画面から起動した場合は、ルールを起動する JP1 イベントの条件として拡張属性を設定します。

[詳細定義 - [判断待ち]] 画面から起動した場合は、判断待ちイベントに付加したい拡張属性を設定します。

[イベント拡張属性] 画面の表示例を次に示します。

図 1-14 [イベント拡張属性] 画面の表示例



[拡張属性]

左側のボックス：属性名

[イベント拡張属性] 画面を表示する前の画面で、拡張属性を選択していた場合

1. 画面

は、拡張属性名が表示されます。必要に応じて編集します。

拡張属性を追加する場合は、拡張属性名を入力します。

拡張属性名は英数字または「_」で指定します。変数は指定できません。

指定できる文字数：1 ~ 32 バイト

なお、属性名は、ルール起動条件ルールエレメントと判断待ちルールエレメントで同じ名称を指定できません。

また、属性名に次の名称は指定できません。

ルール起動条件ルールエレメントの場合

- SEVERITY
- OBJECT_TYPE
- OBJECT_NAME
- ROOT_OBJECT_TYPE
- ROOT_OBJECT_NAME
- OCCURRENCE
- USER_NAME
- PRODUCT_NAME

判断待ちルールエレメントの場合

- SEVERITY

右側のボックス：属性値

[イベント拡張属性] 画面を表示する前の画面で、拡張属性を選択していた場合は、拡張属性値が表示されます。必要に応じて編集します。

拡張属性の追加をする場合は、拡張属性値を入力します。

ルール起動条件ルールエレメントでは、正規表現で指定してください。

判断待ちルールエレメントでは、正規表現は指定できません。ルールを起動した JP1 イベントの属性などの変数は指定できます。

正規表現および指定できる変数については、マニュアル「JP1/Integrated Management・Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

指定できる文字数：1 ~ 1,023 バイト

1.9.5 [詳細定義 - [コマンド実行]] 画面

[詳細定義 - [コマンド実行]] 画面では、実行するコマンドおよび実行ユーザーを指定します。コマンド実行時に有効にする環境変数を指定することもできます。

[詳細定義 - [コマンド実行]] 画面の表示例を次に示します。

図 1-15 [詳細定義 - [コマンド実行]]画面の表示例

表示項目を次に示します。

[名称]

ルールエレメントの名称を設定します。

指定できる文字数：1 ~ 255 バイト

[コメント]

ルールエレメントのコメントを設定します。

指定できる文字数：0 ~ 80 バイト

[説明文]

[説明文] 画面を表示します。詳細は「1.9.13 [説明文] 画面」を参照してください。

[定義] ページ

実行するコマンドの詳細を定義します。[終了判定] 以外の項目では、ルールを起動した JP1 イベントの属性、ルール名称、ルールの実行 ID を、変数を使用して指定できます。ただし、ルールエレメントの実行時、変数を展開した結果が最大値を超えると異常終了します。指定できる変数については、マニュアル「JP1/Integrated Management - Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

[実行ホスト名]

コマンドを実行するホスト名 (JP1/Base のインストールされたホスト) を指定します。この項目を省略した場合、JP1/IM - RL のホストでコマンドが実行さ

1. 画面

れます。

指定できる文字数：0 ~ 255 バイト

[実行コマンド]

実行するコマンドラインを指定します。この項目は必ず指定してください。子プロセスを生成するコマンドを指定した場合、そのコマンドを強制終了しても子プロセスは強制終了しません。親となるコマンド側で対応する必要があります。

[環境変数定義] または [環境変数定義ファイル] で環境変数を指定した場合は、コマンド名だけを指定します。

機種依存文字は使用できません。

指定できる文字数：1 ~ 4,095 バイト

[実行ユーザー]

コマンドを実行する JP1 ユーザー名を半角英数字で指定します。この項目は必ず指定してください。

指定できる文字数：1 ~ 31 バイト

[環境変数定義]

コマンド実行時に有効にする環境変数を「環境変数名 = 値」の形式で指定します。値は、「=」以降から改行コードまでを 1 行と見なします。1 行に記述できる文字列は 1,024 バイトまでです。

複数指定する場合は、「環境変数名 = 値」ごとに改行してください。

環境変数 LANG は指定しないでください。機種依存文字は使用できません。

指定できる文字数：0 ~ 7,167 バイト

指定できる行数：30 行

[環境変数定義ファイル]

環境変数を記述したファイル（環境変数定義ファイル）を読み込ませることができます。環境変数定義ファイルに指定できる文字数や行数に制限はありません。ただし、1 行に記述できる文字列は 1,024 バイトまでです。ファイル内には変数を使用できません。

環境変数定義ファイルに定義する環境変数の指定方法については、[環境変数定義] の説明を参照してください。

ここでは、環境変数定義ファイルのフルパスを指定します。ファイル名には変数を使用できません（ルール名称、ルールの実行 ID は除く）。

機種依存文字は使用できません。

指定できる文字数：0 ~ 255 バイト

[終了判定]

コマンド実行ルールエレメントの終了条件を指定します。この項目は必ず指定してください。デフォルトは、[常に正常] です。

• リストボックス

コマンドの終了判定方法を指定します。

リストボックスから [常に正常]、[常に異常]、[しきい値による設定] のどれかを選択します。

[しきい値による設定]とは、戻り値が0以上または指定したしきい値以下の場合は正常終了となり、戻り値が-1以下または指定したしきい値より大きい場合に異常終了とみまします。

なお,[常に正常]を選択すると、指定したコマンドが存在しない場合も正常終了します。

- [しきい値]

[終了判定]で[しきい値による設定]を選択した場合に指定します。コマンドの終了時判定のしきい値を指定します。

指定できる値：0～2,147,483,647

1.9.6 [詳細定義 - [分岐]]画面

[詳細定義 - [分岐]]画面では、ルールエレメントの処理を分岐させる条件と、次に実行するルールエレメントを指定します。

なお、次に実行するルールエレメントを指定するには、分岐ルールエレメントと次に実行するルールエレメントが関連線で関連づけられている必要があります。

[詳細定義 - [分岐]]画面の表示例を次に示します。

図 1-16 [詳細定義 - [分岐]]画面の表示例

条件	分岐先
リターンコードが0以...	対処判断1
その他	対処判断2

表示項目を次に示します。

[名称]

ルールエレメントの名称を設定します。

1. 画面

指定できる文字数：1 ~ 255 バイト

[コメント]

ルールエレメントのコメントを設定します。

指定できる文字数：0 ~ 80 バイト

[説明文]

[説明文] 画面を表示します。詳細は「1.9.13 [説明文] 画面」を参照してください。

[定義] ページ

次に実行するルールエレメントの分岐条件を設定します。

[分岐条件] 一覧

分岐条件を指定します。指定できる分岐条件は10件までです。[リターンコードで分岐する] 条件または [変数で分岐する] 条件のどちらかを一つ以上と、[その他] 条件を一つ指定してください。

分岐条件の判定は、条件を設定した順番に実行されます。そのため、[その他] 条件は最後に指定してください。

なお、複数の分岐条件に一致した場合は、先に定義された条件に一致する分岐先ルールエレメントが実行されます。

[追加] ボタン

分岐条件を追加します。[分岐先ルールエレメント設定] 画面が表示されます。

[編集] ボタン

[分岐条件] 一覧で選択した分岐条件の内容を編集します。[分岐先ルールエレメント設定] 画面が表示されます。

[削除] ボタン

[分岐条件] 一覧で選択した分岐条件を削除します。

[上へ移動] ボタン

選択した分岐条件を一つ上へ移動します。

[下へ移動] ボタン

選択した分岐条件を一つ下へ移動します。

1.9.7 [分岐先ルールエレメント設定] 画面

[分岐先ルールエレメント設定] 画面では、分岐条件と分岐先ルールエレメントの組み合わせを設定します。

[分岐先ルールエレメント設定] 画面の表示例を次に示します。

図 1-17 [分岐先ルールエレメント設定] 画面の表示例



表示項目を次に示します。

[分岐条件]

分岐条件を指定します。[リターンコードで分岐する] ラジオボタン, [変数で分岐する] ラジオボタン, [その他] ラジオボタンのどれかをチェックし, 詳細を指定します。また, 分岐条件に対応する分岐先ルールエレメントを [分岐先] で指定します。

[リターンコードで分岐する] ラジオボタン

分岐条件として, 直前に実行されたコマンド実行ルールエレメントの戻り値を指定します。戻り値を範囲または条件のどちらかで指定します。

- 上のボックス (範囲指定)
任意の値以上, 任意の値以下の形式で, 戻り値の範囲を指定します。
指定できる値の範囲 : 0 ~ 2,147,483,647
- 下のボックス (条件指定)
条件となる戻り値を指定します。右側のリストボックスでは, 指定した値に対する条件として [と一致する], [以上], [以下], [未満] のどれかを選択します。
指定できる値の範囲 : 0 ~ 2,147,483,647

[変数で分岐する] ラジオボタン

分岐条件として, ルールを起動した JP1 イベントの属性, ルール名称, ルールの実行 ID を, 変数を使用して指定します。指定できる変数については, マニュアル「JP1/Integrated Management - Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

指定できる変数条件は 10 件までです。複数指定した場合は AND 条件となります。

1. 画面

- [追加] ボタン
変数条件を追加します。[変数条件] 画面が表示されます。
- [編集] ボタン
[変数条件] 一覧で選択した変数条件の内容を編集します。[変数条件] 画面が表示されます。
- [削除] ボタン
[変数条件] 一覧で選択した変数条件を削除します。

[その他] ラジオボタン

[リターンコードで分岐する] 条件および [変数で分岐する] 条件で指定した分岐条件が成立しなかった場合を分岐条件とします。

[分岐先]

[分岐条件] で指定した条件ごとに、分岐先ルールエレメントを選択します。分岐先ルールエレメントがない場合、リストは空欄です。この場合は、いったん [分岐先ルールエレメント設定] 画面を閉じ、マップエリアで分岐ルールエレメントと分岐先ルールエレメントを関連づけてください。

[定義情報] ボタン

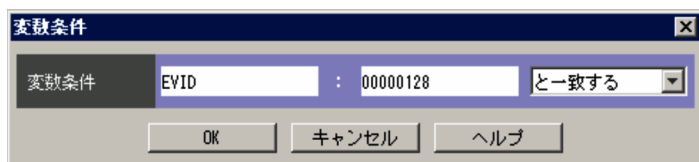
[分岐先] で選択したルールエレメントの定義情報を表示します。詳細定義画面が表示されます。

1.9.8 [変数条件] 画面

変数条件を設定します。

[変数条件] 画面の表示例を次に示します。

図 1-18 [変数条件] 画面の表示例



表示項目を次に示します。

[変数条件]

左側のボックス：変数名

[分岐先ルールエレメント設定] 画面で、変数条件を選択していた場合は、変数条件が表示されます。必要に応じて編集します。

変数条件を追加する場合は、変数名を入力します。

指定できる文字数：1 ~ 50 バイト

中央のボックス：変数値

[分岐先ルールエレメント設定] 画面で、変数条件を選択していた場合は、変数値が表示されます。必要に応じて編集します。

変数条件を追加する場合は、変数値を入力します。

指定できる文字数：1 ~ 255 バイト

右側のリストボックス：比較条件

値に指定した文字列に対する条件として、[と一致する]、[と一致しない]、[から始まる]、[を含む]、[を含まない]、[正規表現]のどれかを選択します。

1.9.9 [詳細定義 - [時刻分岐]] 画面

[詳細定義 - [時刻分岐]] 画面では、ルールエレメントの処理を分岐させる条件として、時刻分岐ルールエレメントの実行時刻の範囲を指定します。さらに、次に実行するルールエレメントを指定します。

なお、次に実行するルールエレメントを指定するには、時刻分岐ルールエレメントと次に実行するルールエレメントが関連線で関連づけられている必要があります。

[詳細定義 - [時刻分岐]] 画面の表示例を次に示します。

図 1-19 [詳細定義 - [時刻分岐]] 画面の表示例

条件	分岐先
09:00 から 17:00 まで	対処判断1
その他	時間外連絡

表示項目を次に示します。

[名称]

ルールエレメントの名称を設定します。

指定できる文字数：1 ~ 255 バイト

1. 画面

[コメント]

ルールエレメントのコメントを設定します。

指定できる文字数：0 ~ 80 バイト

[説明文]

[説明文] 画面を表示します。詳細は「1.9.13 [説明文] 画面」を参照してください。

[定義] ページ

次に実行するルールエレメントの分岐条件を設定します。

[分岐条件] 一覧

分岐条件として、時刻分岐ルールエレメントの実行時刻の範囲を指定します。

指定できる分岐条件は 10 件までです。時刻分岐条件を一つ以上と、[その他] 条件を一つ指定してください。

分岐条件の判定は、条件を設定した順番に実行されます。そのため、[その他] 条件は最後に指定してください。

なお、複数の分岐条件に一致した場合は、先に定義された条件に一致する分岐先ルールエレメントが実行されます。

[追加] ボタン

分岐条件を追加します。[時刻分岐先ルールエレメント設定] 画面が表示されます。

[編集] ボタン

[分岐条件] 一覧で選択した分岐条件の内容を編集します。[時刻分岐先ルールエレメント設定] 画面が表示されます。

[削除] ボタン

[分岐条件] 一覧で選択した分岐条件を削除します。

[上へ移動] ボタン

選択した分岐条件を一つ上へ移動します。

[下へ移動] ボタン

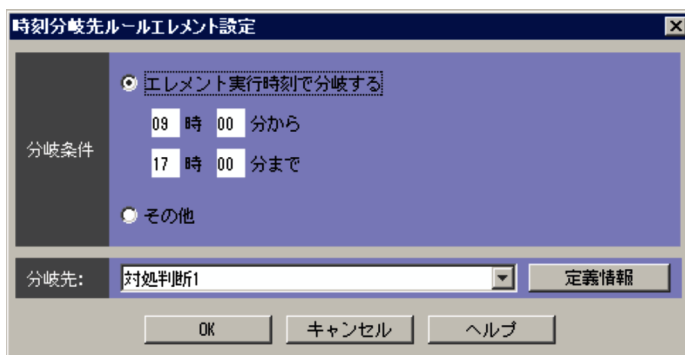
選択した分岐条件を一つ下へ移動します。

1.9.10 [時刻分岐先ルールエレメント設定] 画面

[時刻分岐先ルールエレメント設定] 画面では、時刻分岐の条件と分岐先ルールエレメントの組み合わせを設定します。

[時刻分岐先ルールエレメント設定] 画面の表示例を次に示します。

図 1-20 [時刻分岐先ルールエレメント設定]画面の表示例



表示項目を次に示します。

[分岐条件]

分岐条件を指定します。[エレメント実行時刻で分岐する]ラジオボタンをチェックし、時刻分岐ルールエレメントの実行時刻の範囲を指定します。また、分岐条件に対応する分岐先ルールエレメントを[分岐先]で指定します。

[エレメント実行時刻で分岐する]ラジオボタン

分岐条件として、時刻分岐ルールエレメントの実行時刻の範囲を指定します。開始時刻および終了時刻に指定できる値の範囲：00時00分～23時59分
例えば「09時00分から17時00分まで」と指定すると、「09時00分00秒 時刻分岐ルールエレメントの実行時刻 < 17時00分00秒」の場合に条件に一致します。
夜間処理の場合など日付の変わる時間帯を条件にする場合は、「22時00分から08時00分」のように指定してください。

[その他]ラジオボタン

[エレメント実行時刻で分岐する]条件で指定した分岐条件が成立しなかった場合を分岐条件とします。

[分岐先]

[分岐条件]で指定した条件ごとに、分岐先ルールエレメントを選択します。分岐先ルールエレメントがない場合、リストは空欄です。この場合は、いったん[時刻分岐先ルールエレメント設定]画面を閉じ、マップエリアで時刻分岐ルールエレメントと分岐先ルールエレメントを関連づけてください。

[定義情報]ボタン

[分岐先]で選択したルールエレメントの定義情報を表示します。詳細定義画面が表示されます。

1.9.11 [詳細定義 - [判断待ち]]画面

[詳細定義 - [判断待ち]]画面では、判断待ちイベントを送信するホストや、イベント

1. 画面

の属性を指定します。

[詳細定義 - [判断待ち]] 画面の表示例を次に示します。

図 1-21 [詳細定義 - [判断待ち]] 画面の表示例

詳細定義 - [判断待ち]

名称 対処判断1

コメント

説明文 説明文

定義 対処指示

イベント送信先 ホスト名 host-1

重大度 緊急 警戒 致命的 エラー
 警告 通知 情報 デバッグ

メッセージ \$JRM_RULENAME:\$JRM_RULEINSTANCEID が判断待ちです

拡張属性

追加
編集
削除

OK キャンセル ヘルプ

表示項目を次に示します。

[名称]

ルールエレメントの名称を設定します。

指定できる文字数：1 ~ 255 バイト

[コメント]

ルールエレメントのコメントを設定します。

指定できる文字数：0 ~ 80 バイト

[説明文]

[説明文] 画面を表示します。詳細は「1.9.13 [説明文] 画面」を参照してください。

[定義] ページ

[重大度] 以外の項目では、ルールを起動した JP1 イベントの属性、ルール名称、ルールの実行 ID を、変数を使用して指定できます。

ただし、ルールエレメントの実行時、変数を展開した結果が最大値を超えると、[イベント送信先ホスト], [拡張属性], [ファイル指定] の場合は異常終了し、[メッセージ], [対処メッセージ] の場合は最大値を超えた文字列が表示されません。指定できる変数については、マニュアル「JP1/Integrated Management - Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

[イベント送信先ホスト名]

判断待ちイベントの送信先ホスト名 (JP1/IM - Manager のインストールされたホスト) を設定します。

指定できる文字数 : 1 ~ 255 バイト

[重大度]

判断待ちイベントの重大度を指定します。[緊急], [警戒], [致命的], [エラー], [警告], [通知], [情報], [デバッグ] の中から必要な項目を一つだけチェックします。デフォルトは [緊急] です。

[メッセージ]

判断待ちイベントのメッセージを表示または指定します。

デフォルトでは「\$JRM_RULENAME:\$JRM_RULEINSTANCEID が判断待ちです。モニタ表示でルールの状態を確認してください。」が指定されています。

指定できる文字数 : 0 ~ 1,023 バイト

[拡張属性] 一覧

判断待ちイベントの拡張属性を指定します。指定できる拡張属性は 5 件です。右側のボタンで拡張属性の追加, 編集, 削除をします。

- [追加] ボタン
拡張属性を追加します。[イベント拡張属性] 画面が表示されます。
- [編集] ボタン
[拡張属性] 一覧で選択した拡張属性の内容を編集します。[イベント拡張属性] 画面が表示されます。
- [削除] ボタン
[拡張属性] 一覧で選択した拡張属性を削除します。

[対処指示] ページ

[形式]

対処メッセージの形式を [テキスト] または [HTML] のどちらかで指定します。

[対処メッセージ]

対処メッセージを [メッセージ入力] または [ファイル指定] のどちらかで指定します。メッセージ, ファイル内, およびファイル名に変数を使用できます。

- [メッセージ入力] ラジオボタン
対処メッセージを表示または指定します。対処メッセージの形式に [HTML] を指定している場合は, HTML 形式で指定します。
指定できる文字数 : 0 ~ 4,096 バイト
使用できる HTML タグを次の表に示します。

表 1-8 対処メッセージに使用できる HTML タグ

タグ	属性	説明
HTML	-	HTML 文書であることを宣言します。

1. 画面

タグ	属性	説明
HEAD	-	文書のヘッダー情報を表します。
BODY	-	文書の本体を表します。
A	HREF	リンクを設定します。 リンク先は、ルールオペレーション・ビューアーからから接続できるリンク先に限ります。 「mailto:」は指定できません。
H1 ~ H6	-	見出しを付けます。
FONT	<ul style="list-style-type: none">• SIZE• COLOR	フォントのサイズと色を指定します。 SIZE で指定できる値は、1 ~ 7 です。 COLOR で指定できる値は、black, silver, gray, white, maroon, red, purple, fuchsia, green, lime, olive, yellow, navy, blue, teal, aqua です。
B	-	フォントをボールドにします。
I	-	フォントをイタリックにします。
HR	-	横けい線を引きます。
BR	-	改行します。

(凡例)

- : なし

- [ファイル指定] ラジオボタン

対処メッセージを記述したファイルを読み込ませることができます。ファイルは JP1/IM-RL ホストに格納してください。対処メッセージのファイルに指定できる文字数は 1 メガバイトまでです。

ここでは、対処メッセージのファイルのフルパスを [ファイル名] に指定します。

指定できる文字数 : 0 ~ 1,024 バイト

1.9.12 [詳細定義 - [対処 (コマンド)]] 画面

[詳細定義 - [対処 (コマンド)]] 画面では、障害事象を回復するためのコマンドや、より上位のシステム管理者へ通知するコマンドなどを定義します。

[詳細定義 - [対処 (コマンド)]] 画面の表示例を次に示します。

図 1-22 [詳細定義 - [対処(コマンド)]]画面の表示例

表示項目を次に示します。

[名称]

ルールエレメントの名称を設定します。

指定できる文字数：1 ~ 255 バイト

[コメント]

ルールエレメントのコメントを設定します。

指定できる文字数：0 ~ 80 バイト

[説明文]

[説明文] 画面を表示します。詳細は「1.9.13 [説明文] 画面」を参照してください。

[定義] ページ

実行するコマンドの詳細を定義します。[終了判定] 以外の項目では、ルールを起動した JP1 イベントの属性、ルール名称、ルールの実行 ID を、変数を使用して指定できます。ただし、ルールエレメントの実行時、変数を展開した結果が最大値を超えると異常終了します。指定できる変数については、マニュアル「JP1/Integrated Management - Rule Operation システム構築・運用ガイド」を参照してください。

[実行ホスト名]

コマンドを実行するホスト名 (JP1/Base のインストールされたホスト) を指定します。この項目を省略した場合、JP1/IM - RL のホストでコマンドが実行さ

1. 画面

れます。

指定できる文字数：0 ~ 255 バイト

[実行コマンド]

実行するコマンドラインを指定します。この項目は必ず指定してください。子プロセスを生成するコマンドを指定した場合、そのコマンドを強制終了しても子プロセスは強制終了しません。親となるコマンド側で対応する必要があります。

[環境変数定義] または [環境変数定義ファイル] で環境変数を指定した場合は、コマンド名だけを指定します。

機種依存文字は使用できません。

指定できる文字数：1 ~ 4,095 バイト

[実行ユーザー]

コマンドを実行する JP1 ユーザー名を半角英数字で指定します。この項目は必ず指定してください。

指定できる文字数：1 ~ 31 バイト

[環境変数定義]

コマンド実行時に有効にする環境変数を「環境変数名 = 値」の形式で指定します。値は、「=」以降から改行コードまでを 1 行と見なします。1 行に記述できる文字列は 1,024 バイトまでです。

複数指定する場合は、「環境変数名 = 値」ごとに改行してください。

環境変数 LANG は指定しないでください。機種依存文字は使用できません。

指定できる文字数：0 ~ 7,167 バイト

指定できる行数：30 行まで

[環境変数定義ファイル]

環境変数を記述したファイル（環境変数定義ファイル）を読み込ませることができます。環境変数定義ファイルに指定できる文字数や行数に制限はありません。ただし、1 行に記述できる文字列は 1,024 バイトまでです。ファイル内には変数を使用できません。環境変数の指定方法については、[環境変数定義] の説明を参照してください。

ここでは、環境変数定義ファイルのフルパスを指定します。ファイル名には変数を使用できません（ルール名称、ルールの実行 ID は除く）。

機種依存文字は使用できません。

指定できる文字数：0 ~ 255 バイト

[終了判定]

対処（コマンド）ルールエレメントの終了条件を指定します。この項目は必ず指定してください。デフォルトは、[常に正常] です。

• リストボックス

コマンドの終了判定方法を指定します。

リストボックスから [常に正常], [常に異常], [しきい値による設定] のどれかを選択します。

[しきい値による設定]とは、戻り値が0以上または指定したしきい値以下の場合は正常終了となり、戻り値が-1以下または指定したしきい値より大きい場合に異常終了と見なします。

なお,[常に正常]を選択すると、指定したコマンドが存在しない場合も正常終了します。

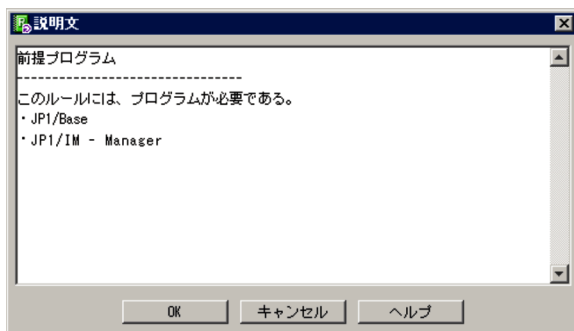
- [しきい値]
[終了判定]で[しきい値による設定]を選択した場合に指定します。コマンドの終了時判定のしきい値を指定します。
指定できる値：0 ~ 2,147,483,647

1.9.13 [説明文]画面

[説明文]画面は、ルール、ルールグループまたはルールエレメントの説明文を表示または設定します。

[説明文]画面の表示例を次に示します。

図 1-23 [説明文]画面の表示例



表示項目を次に示します。

[説明文]

説明文を設定します。ルールエレメントの機能や使い方、ルールを実行するための前提条件などを記入します。

指定できる文字数：0 ~ 16,384 バイト

1.10 モニタ詳細画面

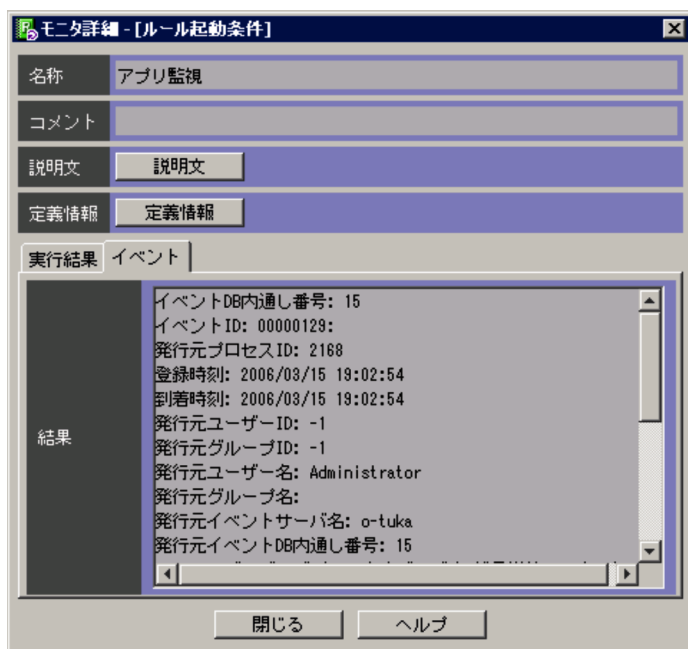
この節では、各ルールエレメントの実行結果を表示する画面について説明します。

1.10.1 [モニタ詳細 - [ルール起動条件]] 画面

[ルールモニタ] 画面で選択したルール起動条件ルールエレメントの、実行結果および定義を表示します。

[モニタ詳細 - [ルール起動条件]] 画面の表示例を次に示します。

図 1-24 [モニタ詳細 - [ルール起動条件]] 画面の表示例



表示項目を次に示します。

[名称]

ルールエレメントの名称が表示されます。

[コメント]

ルールエレメントのコメントが表示されます。

[説明文]

[説明文] 画面に、ルールエレメントの説明文が表示されます。

[定義情報]

[詳細定義 - [ルール起動条件]] 画面を表示します。定義情報は編集できません。

[実行結果] ページ

[状態]

ルールエレメントの状態が表示されます。

[開始時刻]

ルールエレメントの開始時刻が表示されます。

[終了時刻]

ルールエレメントの終了時刻が表示されます。

[終了コード]

空欄です。

[実行ホスト]

ルールエレメントの実行ホストが表示されます。

[イベント] ページ

[結果]

ルールの起動条件となった JP1 イベントの情報が表示されます。

1.10.2 [モニタ詳細 - [コマンド実行]] 画面

[ルールモニタ] 画面で選択したコマンド実行ルールエレメントの、実行結果および定義を表示します。

[モニタ詳細 - [コマンド実行]] 画面の表示例を次に示します。

図 1-25 [モニタ詳細 - [コマンド実行]] 画面の表示例

名称	アプリ状態確認
コメント	
説明文	説明文
定義情報	定義情報
実行結果	コマンド
状態	正常終了
開始時刻	2006/03/15 19:02:57
終了時刻	2006/03/15 19:02:58
終了コード	0
実行ホスト	

1. 画面

表示項目を次に示します。

[名称]

ルールエレメントの名称が表示されます。

[コメント]

ルールエレメントのコメントが表示されます。

[説明文]

[説明文] 画面に、ルールエレメントの説明文が表示されます。

[定義情報]

[詳細定義 - [コマンド実行]] 画面を表示します。定義情報は編集できません。

[実行結果] ページ

[状態]

ルールエレメントの状態が表示されます。

[開始時刻]

ルールエレメントの開始時刻が表示されます。

[終了時刻]

ルールエレメントの終了時刻が表示されます。

[終了コード]

コマンドの終了コードが表示されます。

[実行ホスト]

ルールエレメントの実行ホストが表示されます。

[コマンド] ページ

[結果]

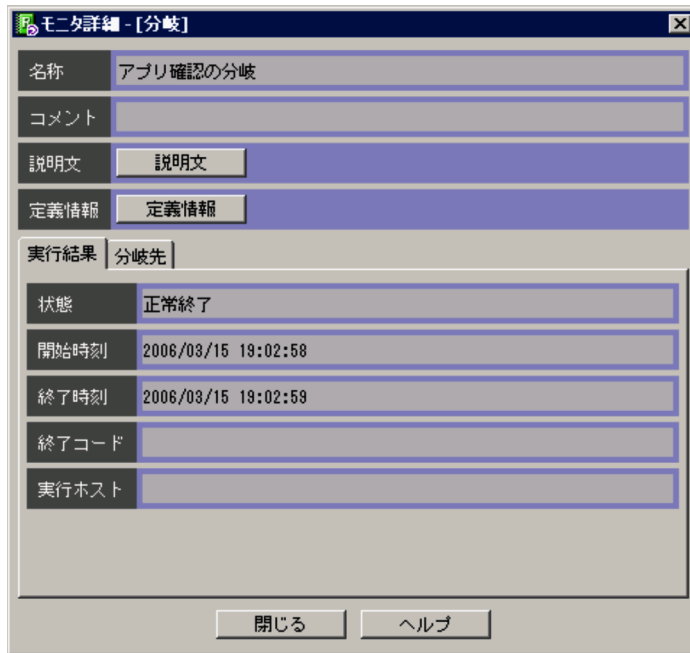
- コマンドの実行が終了した場合
コマンドの標準出力および標準エラー出力の内容が表示されます。
- コマンドが異常終了した場合
エラーメッセージ (KAJXnnnn-E) が表示されます。
- ルールエレメントを強制終了した場合
警告メッセージ (KAJXnnnn-W) が表示されます。

1.10.3 [モニタ詳細 - [分岐]] 画面

[ルールモニタ] 画面で選択した分岐ルールエレメントの、実行結果および定義を表示します。

[モニタ詳細 - [分岐]] 画面の表示例を次に示します。

図 1-26 [モニタ詳細 - [分岐]] 画面の表示例



表示項目を次に示します。

[名称]

ルールエレメントの名称が表示されます。

[コメント]

ルールエレメントのコメントが表示されます。

[説明文]

[説明文] 画面に、ルールエレメントの説明文が表示されます。

[定義情報]

[詳細定義 - [分岐]] 画面を表示します。定義情報は編集できません。

[実行結果] ページ

[状態]

ルールエレメントの状態が表示されます。

[開始時刻]

ルールエレメントの開始時刻が表示されます。

[終了時刻]

ルールエレメントの終了時刻が表示されます。

[終了コード]

空欄です。

1. 画面

[実行ホスト]

ルールエレメントの実行ホストが表示されます。

[分岐先] ページ

[結果]

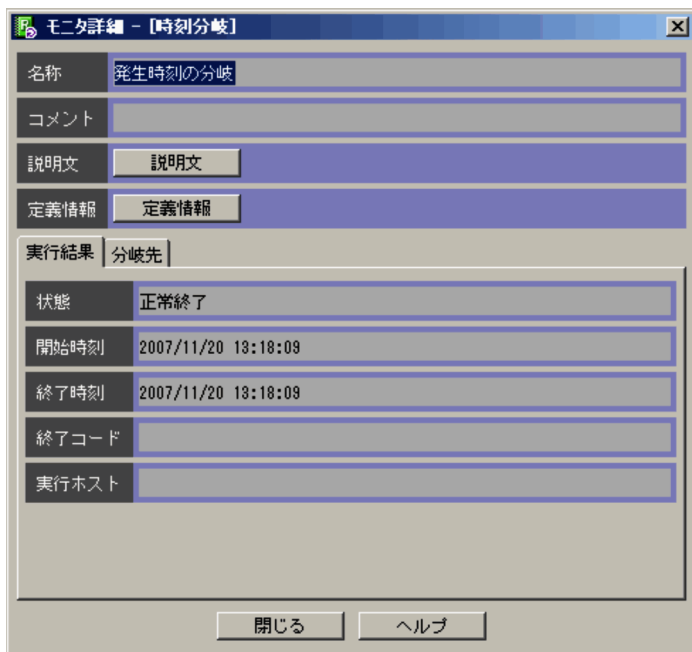
- 正常終了した場合
分岐先ルールエレメントの名称が表示されます。
- 分岐先ルールエレメントがなく異常終了した場合
エラーメッセージ (KAJXnnnn-E) が表示されます。
- 分岐ルールエレメントを強制終了した場合
警告メッセージ (KAJXnnnn-W) が表示されます。
- 上記以外のエラーの場合
エラーメッセージ (KAJXnnnn-E) が表示されます。

1.10.4 [モニタ詳細 - [時刻分岐]] 画面

[ルールモニタ] 画面で選択した時刻分岐ルールエレメントの、実行結果および定義を表示します。

[モニタ詳細 - [時刻分岐]] 画面の表示例を次に示します。

図 1-27 [モニタ詳細 - [時刻分岐]] 画面の表示例



表示項目を次に示します。

[名称]

ルールエレメントの名称が表示されます。

[コメント]

ルールエレメントのコメントが表示されます。

[説明文]

[説明文] 画面に、ルールエレメントの説明文が表示されます。

[定義情報]

[詳細定義 - [時刻分岐]] 画面を表示します。定義情報は編集できません。

[実行結果] ページ

[状態]

ルールエレメントの状態が表示されます。

[開始時刻]

ルールエレメントの開始時刻が表示されます。

[終了時刻]

ルールエレメントの終了時刻が表示されます。

[終了コード]

空欄です。

[実行ホスト]

ルールエレメントの実行ホストが表示されます。

[分岐先] ページ

[分岐時刻]

分岐した時刻が表示されます。

[結果]

- 正常終了した場合
分岐先ルールエレメントの名称が表示されます。
- 分岐先ルールエレメントがなく異常終了した場合
エラーメッセージ (KAJXnnnn-E) が表示されます。
- 時刻分岐ルールエレメントを強制終了した場合
警告メッセージ (KAJXnnnn-W) が表示されます。
- 上記以外のエラーの場合
エラーメッセージ (KAJXnnnn-E) が表示されます。

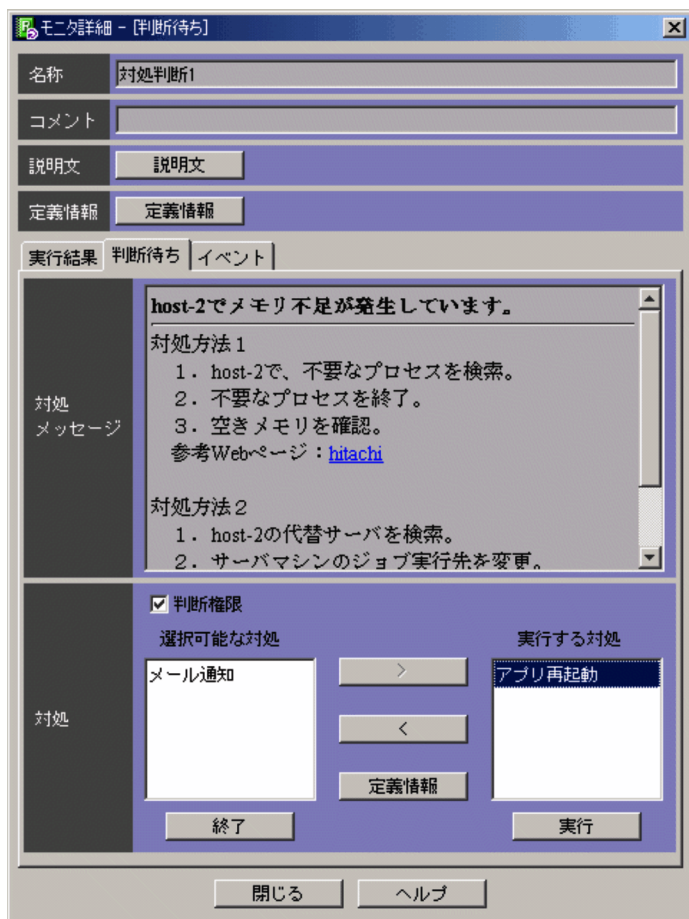
1.10.5 [モニタ詳細 - [判断待ち]] 画面

[ルールモニタ] 画面で選択した判断待ちルールエレメントの、実行結果および定義を表示します。

[モニタ詳細 - [判断待ち]] 画面の表示例を次に示します。

1. 画面

図 1-28 [モニタ詳細 - [判断待ち]] 画面の表示例



表示項目を次に示します。

[名称]

ルールエレメントの名称が表示されます。

[コメント]

ルールエレメントのコメントが表示されます。

[説明文]

[説明文] 画面に、ルールエレメントの説明文が表示されます。

[定義情報]

[詳細定義 - [判断待ち]] 画面を表示します。定義情報は編集できません。

[実行結果] ページ

[状態]

ルールエレメントの状態が表示されます。

[開始時刻]

ルールエレメントの開始時刻が表示されます。

[終了時刻]

ルールエレメントの終了時刻が表示されます。

[終了コード]

空欄です。

[実行ホスト]

ルールエレメントの実行ホストが表示されます。

[判断待ち] ページ

[対処メッセージ]

判断待ちルールエレメントで設定した対処メッセージが表示されます。

[対処]

判断待ちルールエレメントが判断待ち状態の場合は、対処を選択して実行できます。判断待ちルールエレメントが終了している場合は、実行した対処が表示されます。

判断待ち状態で対処を選択する場合は、[判断権限] チェックボックスをチェックして、判断権限を取得します。

• 対処内容を確認する場合

[定義情報] ボタンをクリックすると、[選択可能な対処] または [実行する対処] の一覧で選択している対処の [詳細定義 - [対処 (コマンド)]] 画面を表示できます。この画面で、対処内容を確認してください。

• 対処を選択して実行する場合

[>] および [<] ボタンを使用して、[実行する対処] の一覧に実行したい対処だけを表示させて、[実行] ボタンをクリックします。

対処が実行されると [マップエリア] のアイコンの背景色が黄色に変更されて、[対処実行確認] 画面が表示されます。[対処実行確認] 画面を閉じると、アイコンの背景色は元に戻ります。

• 対処を実行しないでルールインスタンスの実行を終了する場合

対処を実行しないでルールインスタンスの実行を終了したい場合は、[終了] ボタンをクリックします。

[イベント] ページ

[結果]

判断待ちイベントの詳細が表示されます。

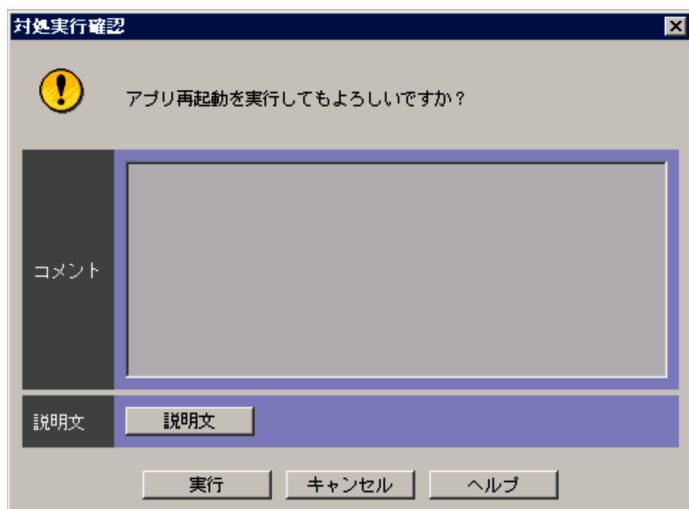
1.10.6 [対処実行確認] 画面

[モニタ詳細 - [判断待ち]] 画面の [判断待ち] ページで指定した対処 (コマンド) ルールエレメントを実行してよいかどうかを確認します。

[対処実行確認] 画面の表示例を次に示します。

1. 画面

図 1-29 [対処実行確認] 画面の表示例



表示項目を次に示します。

[コメント]

選択した対処（コマンド）ルールエレメントのコメントが表示されます。

[説明文]

[説明文] 画面に、選択した対処（コマンド）ルールエレメントの説明文が表示されます。

[実行] ボタン

指定された対処（コマンド）ルールエレメントを実行します。

[キャンセル] ボタン

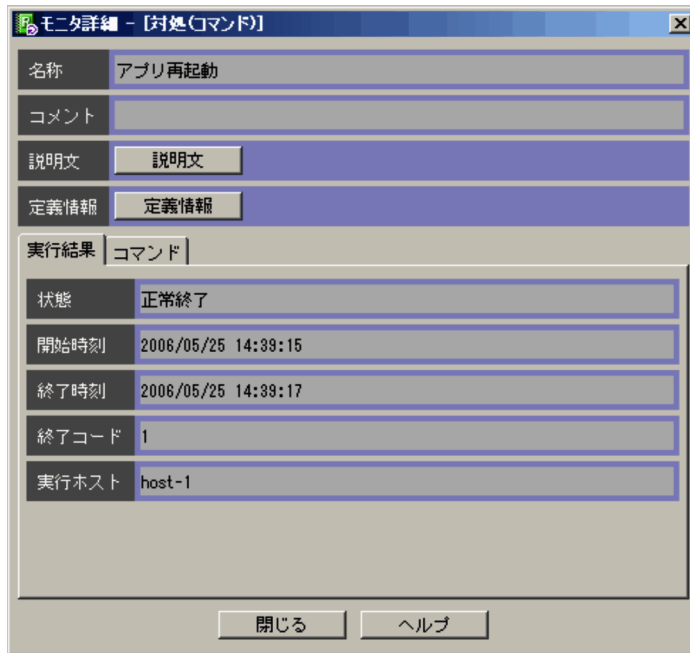
対処（コマンド）ルールエレメントを実行しないで画面を閉じます。

1.10.7 [モニタ詳細 - [対処（コマンド）]] 画面

[ルールモニタ] 画面で選択した対処（コマンド）ルールエレメントの、実行結果および定義を表示します。

[モニタ詳細 - [対処（コマンド）]] 画面の表示例を次に示します。

図 1-30 [モニタ詳細 - [対処 (コマンド)]] 画面の表示例



表示項目を次に示します。

[名称]

ルールエレメントの名称が表示されます。

[コメント]

ルールエレメントのコメントが表示されます。

[説明文]

[説明文] 画面に、ルールエレメントの説明文が表示されます。

[定義情報]

[詳細定義 - [対処 (コマンド)]] 画面を表示します。定義情報は編集できません。

[実行結果] ページ

[状態]

ルールエレメントの状態が表示されます。

[開始時刻]

ルールエレメントの開始時刻が表示されます。

[終了時刻]

ルールエレメントの終了時刻が表示されます。

[終了コード]

コマンドの終了コードが表示されます。

1. 画面

[実行ホスト]

ルールエレメントの実行ホストが表示されます。

[コマンド] ページ

[結果]

- コマンドの実行が終了した場合
コマンドの標準出力および標準エラー出力の内容が表示されます。
- コマンドが異常終了した場合
エラーメッセージ (KAJXnnnn-E) が表示されます。
- ルールエレメントを強制終了した場合
警告メッセージ (KAJXnnnn-W) が表示されます。

付録

付録 A 各バージョンの変更内容

付録 A 各バージョンの変更内容

各バージョンでの変更内容を示します。

付録 A.1 08-10 の変更内容

ここで示すのは、JP1/IM - View の 08-01 から 08-10 への変更内容です。JP1/IM - RL には、08-10 はありません。

- Windows Vista 上で動作する JP1/Integrated Management - View をサポートした。

付録 A.2 08-01 の変更内容

- [ルール監視] 画面, [ルール実行履歴] 画面, [ルール結果詳細] 画面を次のように変更した。
 - パスを含むルール名を表示するようにした。
 - 終了したルールインスタンスを削除できるようにした。
 - ルールインスタンスを複数選択して強制終了および削除できるようにした。

索引

数字

08-01 の変更内容 60

08-10 の変更内容 60

い

[イベント拡張属性] 画面 31

か

各バージョンの変更内容 60

08-01 60

08-10 60

し

[時刻分岐先ルールエレメント設定] 画面 40

実行結果 ([ルールエディタ] 画面) 13

実行結果 ([ルールモニタ] 画面) 16

[詳細定義 - [コマンド実行]] 画面 32

[詳細定義 - [時刻分岐]] 画面 39

[詳細定義 - [対処 (コマンド)]] 画面 44

[詳細定義 - [判断待ち]] 画面 41

[詳細定義 - [分岐]] 画面 35

[詳細定義 - [ルール]] 画面 26

[詳細定義 - [ルール起動条件]] 画面 28

[詳細定義 - [ルールグループ]] 画面 26

す

ステータスバー (メイン画面) 5

せ

[説明文] 画面 47

た

[対処実行確認] 画面 55

つ

ツールバー (メイン画面) 3

ツールバー ([ルール監視] 画面) 17

ツールバー ([ルール結果詳細] 画面) 21

ツールバー ([ルール実行履歴] 画面) 19

ひ

[表示設定] 画面 23

ふ

[分岐先ルールエレメント設定] 画面 36

へ

編集パレット ([ルールエディタ] 画面) 11

編集パレット ([ルールモニタ] 画面) 15

[変数条件] 画面 38

ほ

ポップアップメニュー ([ルール監視] 画面) 18

ポップアップメニュー ([ルール結果詳細] 画面) 22

ポップアップメニュー ([ルール実行履歴] 画面) 20

ま

マップエリア ([ルールエディタ] 画面) 13

マップエリア ([ルールモニタ] 画面) 15

め

メイン画面 3

メニュー (メイン画面) 4

メニュー ([ルールエディタ] 画面) 10

メニュー ([ルールモニタ] 画面) 14

も

[モニタ詳細 - [コマンド実行]] 画面 49

[モニタ詳細 - [時刻分岐]] 画面 52

[モニタ詳細 - [対処 (コマンド)]] 画面 56

- [モニタ詳細 - [判断待ち] 画面 53
- [モニタ詳細 - [分岐] 画面 50
- [モニタ詳細 - [ルール起動条件] 画面 48

る

- ルールインスタンスリスト表示テーブル ([ルール監視] 画面) 17
- ルールインスタンスリスト表示テーブル ([ルール結果詳細] 画面) 21
- ルールインスタンスリスト表示テーブル ([ルール実行履歴] 画面) 19
- [ルールエディタ] 画面 10
- [ルール監視] 画面 17
- [ルール結果詳細] 画面 21
- [ルール実行履歴] 画面 19
- [ルールモニタ] 画面 14

ろ

- [ログイン] 画面 2

ソフトウェアマニュアルのサービス ご案内

1. マニュアル情報ホームページ

ソフトウェアマニュアルの情報をインターネットで公開しています。

URL <http://www.hitachi.co.jp/soft/manual/>

ホームページのメニューは次のとおりです。

マニュアル一覧	日立コンピュータ製品マニュアルを製品カテゴリ、マニュアル名称、資料番号のいずれかから検索できます。
CD-ROMマニュアル	日立ソフトウェアマニュアルと製品群別CD-ROMマニュアルの仕様について記載しています。
マニュアルのご購入	マニュアルご購入時のお申し込み方法を記載しています。
オンラインマニュアル	一部製品のマニュアルをインターネットで公開しています。
サポートサービス	ソフトウェアサポートサービスお客様向けページでのマニュアル公開サービスを記載しています。
ご意見・お問い合わせ	マニュアルに関するご意見、ご要望をお寄せください。

2. インターネットでのマニュアル公開

2種類のマニュアル公開サービスを実施しています。

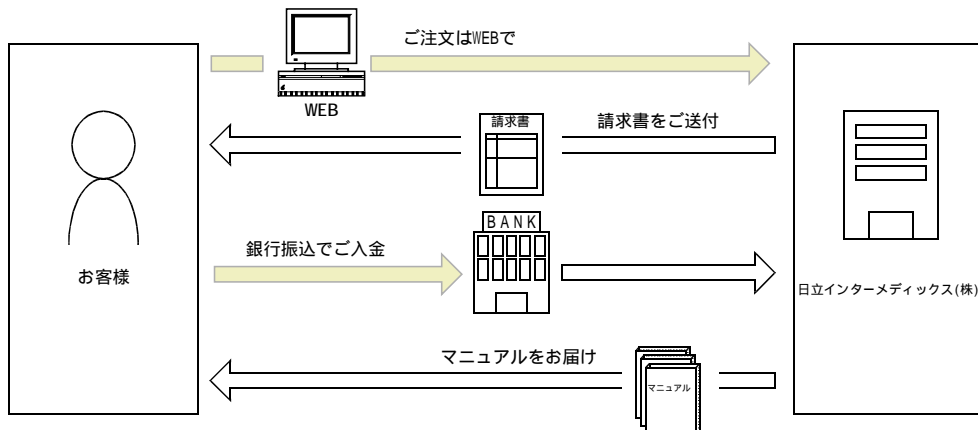
(1) マニュアル情報ホームページ「オンラインマニュアル」での公開

製品をよりご理解いただくためのご参考として、一部製品のマニュアルを公開しています。

(2) ソフトウェアサポートサービスお客様向けページでのマニュアル公開

ソフトウェアサポートサービスご契約のお客様向けにマニュアルを公開しています。公開しているマニュアルの一覧、本サービスの対象となる契約の種別などはマニュアル情報ホームページの「サポートサービス」をご参照ください。

3. マニュアルのご注文



マニュアル情報ホームページの「マニュアルのご購入」にアクセスし、お申し込み方法をご確認のうえWEBからご注文ください。ご注文先は日立インターメディアックス(株)となります。

ご注文いただいたマニュアルについて請求書をお送りします。

請求書の金額を指定銀行へ振り込んでください。

入金確認後7日以内にお届けします。在庫切れの場合は、納期を別途ご案内いたします。